

2020-2021 年度 次期会長・部役員研修会 ワークブック

2021/3/6

ウェブ会議システム Zoom

ミーティング ID: 948 1748 8784

パスコード: 072364



ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区

2020-2021 年度 次期クラブ会長・部役員研修会資料

目 次

会長・部役員名簿	3
研修会プログラム	4
東日本区の現況	6
国際協会・アジア太平洋地域の現状	8
YMCA理解・全国YMCA報告	12
東日本区次期理事方針	16
2021-2022年度東日本区行事予定表	17
東日本区次期役員予定者名簿	18
地域奉仕・YMCAサービス事業方針	19
会員増強事業方針	20
国際・交流事業方針	21
ユース事業方針	22
ワイズメネット委員会方針	23
北海道部部長方針・活動計画	24
北東部部長方針	25
関東東部部長方針	26
東新部部長方針	27
あずさ部部長方針	28
湘南・沖縄部部長方針	29
富士山部部長方針	30
部事業主査予定表	31
クラブ運営に関する事務手続きのポイント	32
会計について	35
必要書類のダウンロード	36
東日本区IT活用について	37
ワイズ物販について	40
東日本区現勢	41
JEF（東日本区ワイズ基金）のご案内	42

2021-2022年度 クラブ会長・部役員名簿

敬称略

	会長・役職	氏名	クラブ名
北海道部会長・役員	札幌	柴田 伸 俊	
	北見	山 田 剛	
	十勝	矢 竹 克 年	
	札幌北	小 谷 和 雄	
	部長	中 村 義 春	十勝
	次期部長	小 谷 和 雄	札幌北
	直前部長	中 村 義 春	十勝
	書記	山 下 真	十勝
	会計	赤 松 明 彦	十勝
	地域奉仕・Yサ事業主査	古 賀 勝 己	北見
	会員増強事業主査	重 堂 幸 恵	十勝
	国際・交流事業主査	佐 藤 國 彦	札幌北
	ユース事業主査	宮 崎 善 昭	札幌
メネット連絡員	池 田 明 美	十勝	
北東部会長・役員	仙台	永 井 孝 憲	
	前橋	未	
	宇都宮	藍 原 菜 穂 実	
	仙台青葉城	菊 地 弘 生	
	足利	諏 訪 治 男	
	会津	青 山 孝 男	
	宇都宮東	岡 田 孝 司	
	那須	河 野 順 子	
	もりおか	長 岡 正 彦	
	仙台広瀬川	菅 野 健	
	石巻広域	日 野 峻	
	部長	南 澤 一 右	仙台青葉城
	次期部長	大 久 保 知 宏	宇都宮
	直前部長	南 澤 一 右	仙台青葉城
	書記	涌 澤 博	仙台青葉城
	会計	菊 地 弘 生	仙台青葉城
	地域奉仕・Yサ事業主査	未	
	会員増強事業主査	未	
	国際・交流事業主査	中 川 典 幸	仙台
ユース事業主査	三 田 庸 平	もりおか	
メネット事業主査	多 田 純 子	仙台広瀬川	
関東東部会長・役員	東京江東	島 田 徹	
	千葉	古 屋 朝 則	
	東京グリーン	樋 口 順 英	
	埼玉	浅 羽 俊 一 郎	
	東京北	村 杉 一 榮	
	所沢	東 裕 二	
	東京ひがし	高 野 真 治	
	川越	吉 野 勝 三 郎	
	茨城	熊 谷 光 彦	
	東京ベイサイド	藤 原 宏 隆	
	千葉ウエスト	高 田 一 彦	
	部長	大 澤 和 子	所沢
	次期部長	工 藤 大 丈	東京ベイサイド
	直前部長	柿 沼 敬 喜	東京グリーン
	書記	利 根 川 太 郎	川越
	会計	東 裕 二	所沢
	地域奉仕・Yサ事業主査	青 木 方 枝	東京グリーン
	会員増強事業主査	金 丸 満 雄	東京ひがし
	国際・交流事業主査	吉 田 公 代	川越
ユース事業主査	衣 笠 輝 夫	埼玉	
メネット連絡員	布 上 信 子	東京グリーン	
東新部会長・役員	東京	比 奈 地 康 晴	
	東京むかで	土 井 宏 二	
	東京世田谷	朝 倉 正 昭	
	東京町田コスモス	今 村 る か	
	東京センチニアル	未	
	東京多摩みなみ	伊 藤 幾 夫	
	東京町田スマイリング	為 我 井 輝 忠	
	部長	松 香 光 夫	東京町田コスモス
	次期部長	深 尾 香 子	東京多摩みなみ
	直前部長	加 藤 義 孝	東京
	書記	権 藤 徳 彦	東京町田コスモス
	会計	石 田 孝 次	東京多摩みなみ
	地域奉仕・Yサ事業主査	城 井 廣 邦	東京むかで
	会員増強事業主査	村 野 繁	東京世田谷
	国際・交流事業主査	浅 倉 正 昭	東京世田谷
	ユース事業主査	城 田 教 寛	東京スマイリング
	メネット連絡員	菅 谷 一 江	東京

	会長・役職	氏名	クラブ名	
あずさ部会長・役員	甲府	石 川 和 弘		
	東京西	鳥 越 成 代		
	東京武蔵野多摩	渡 辺 大 輔		
	松本	梶 秀 成		
	東京サンライズ	小 山 憲 彦		
	甲府21	米 長 晴 信		
	東京八王子	山 本 英 次		
	東京たんぼぼ	服 部 節 子		
	富士五湖	原 俊 彦		
	長野	森 本 俊 子		
	部長	長 谷 川 あ や 子	東京八王子	
	次期部長	後 藤 明 久	富士五湖	
	直前部長	御 園 生 好 子	東京サンライズ	
	書記	久 保 田 貞 視	東京八王子	
	会計	並 木 信 一	東京八王子	
	地域奉仕・Yサ事業主査	萩 野 清	甲府21	
	会員増強事業主査	標 克 明	甲府	
	国際・交流事業主査	篠 原 文 恵	東京西	
	ユース事業主査	中 村 吉 孝	東京武蔵野多摩	
	メネット連絡員	山 県 洋 子	甲府21	
	湘南・沖繩部会長・役員	横浜	古 賀 健 一 郎	
		沖繩那覇	長 嶺 將 邦	
		鎌倉	池 田 光 司	
		横浜とつか	若 木 一 美	
		厚木	佐 藤 節 子	
		金沢八景	未	
		横浜つづき	辻 剛	
		沖繩	手 登 根 正	
		横浜つるみ	久 保 勝 昭	
		部長	若 木 一 美	横浜とつか
次期部長		未		
直前部長		古 田 和 彦	横浜	
書記		板 崎 淑 子	鎌倉	
会計		岡 進	横浜とつか	
地域奉仕・Yサ事業主査		日 下 部 美 幸	厚木	
会員増強事業主査	鈴 木 茂	横浜つづき		
国際・交流事業主査	伊 藤 康 一	沖繩		
ユース事業主査	久 保 勝 昭	横浜つるみ		
メネット連絡員	未			
富士山部会長・役員	熱海	泉 明 寺 み ず ほ		
	沼津	大 村 貴 之		
	伊東	稲 葉 富 士 憲		
	三島	日 吉 和 代		
	下田	清 野 大 樹		
	熱海グローリー	陣 内 康 策		
	御殿場	杉 山 將 己		
	富士	小 澤 嘉 道		
	富士宮	稲 葉 晃 司		
	部長	小 原 進 一	熱海	
	次期部長	未		
	直前部長	伊 藤 一 芳	富士宮	
	書記	山 崎 英 史	熱海	
	会計	深 澤 勇 弘	熱海	
	地域奉仕・Yサ事業主査	前 原 末 子	御殿場	
会員増強事業主査	榎 本 博	伊東		
国際・交流事業主査	橋 本 一 実	熱海		
ユース事業主査	石 川 泰 仁	富士宮		
メネット連絡員	青 木 優 子	熱海		

2020-2021 年度

次期クラブ会長・次期部役員研修会

開催月日 2021年3月6日(土) 午後1時30分
方 法 Web会議システム Zoom

開会式 (13:30~13:40)

- | | | |
|------------------|--------|-------|
| (1) 開会点鐘 | 東日本区理事 | 板村 哲也 |
| (2) 開会挨拶 | 東日本区理事 | 板村 哲也 |
| (3) 次期役員紹介 (16名) | | |
| (4) LT委員紹介 (7名) | | |
| (5) オリエンテーション | | |

研修Ⅰ (13:40~14:30)

司会 LT委員 小原 史奈子

- | | | |
|---------------------|----------|--------|
| (1) 東日本区の現状 | 東日本区理事 | 板村 哲也 |
| (2) 東日本区次期理事方針 | 東日本区次期理事 | 大久保 知宏 |
| (3) YMCA理解・全国YMCA報告 | 東日本区担当主事 | 光永 尚生 |
| (4) 質疑応答 | | |

研修Ⅱ (14:30~15:30)

司会 LT委員 千葉 裕子

- | | | |
|-----------------------|-----------------|-------|
| (1) 地域奉仕・YMCAサービス事業方針 | 次期地域奉仕・YMCA事業主任 | 深尾 香子 |
| (2) 会員増強事業方針 | 次期会員増強事業主任 | 大川 貴久 |
| (3) 国際・交流事業方針 | 次期国際・交流事業主任 | 山田 公平 |
| (4) ユース事業方針 | 次期ユース事業主任 | 三田 庸平 |
| (5) ワイズメネット委員会方針 | 次期ワイズメネット委員長 | 澁谷 実季 |
| (6) アジア太平洋エリア・国際の現状 | 次期アジア太平洋地域会長 | 大野 勉 |
| (7) 質疑応答 | | |

研修Ⅲ (15:30~16:00)

司会 LT委員 山本 剛史郎

- | | | |
|---------------------|-------------------|-------|
| (1) 部事業主査・部書記・会計の役割 | 次期東日本区書記 | 衣笠 輝夫 |
| (2) 事務手続きのポイント | 東日本区事務所長 | 小林 隆 |
| (3) 質疑応答 | | |
| (4) 東日本区ワイズ基金アピール | 東日本区ワイズ基金運営委員会委員長 | 高田 一彦 |

研修Ⅳ (16:00~16:45)

司会 LT委員長 山下 真

- 部長を囲んで
各部に分かれそれぞれの部長の方針を聞きながら、コロナを乗り越えるためにより良い部、クラブ活動の充実のために交流や事例報告、意見交換をおこなおう。
- 全体交流
それぞれの部から「(1) 部長を囲んで」で話された内容の報告をいただきます。
この時間で写真(スクリーンショット)も撮るので他の部の報告を聞きながら笑顔で過ごしましょう。

監査講評 (16:45～16:55)

東日本区監事

辻 剛
漆畑義彦

閉会式 (16:55～17:00)

閉会挨拶
閉会点鐘

東日本区次期理事
東日本区理事

大久保知宏
板村 哲也

「研修Ⅳ (1)部長を囲んで」に向けてのお願い

円滑にそれぞれの部の小部屋に誘導するために、それぞれのお名前の前に所属部を区別する次の番号(半角英数字)を振っていただきたいのです。

ホスト側でもできますので、操作に不安がある場合は早めに入室して頂けると助かります。

北海道部	1	あずさ部	5
北東部	2	湘南・沖縄部	6
関東東部	3	富士山部	7
東新部	4		

名前を変える方法

ミーティング ID で入室する場合

- ① Zoom を立ち上げる
- ② 参加ボタンをクリック
- ③ “ミーティングに参加”という画面が表示されるのを確認
- ④ ミーティング ID を入力する欄の下に自分の名前があるので、変更する

リンク (招待 URL) から入室した場合 (入室後に名前を変える場合も含まれます)

ホストから送られてきた招待 URL をクリックした場合は、すぐに待機ルームに入ってしまうので、参加前に名前変更することはできません。

名前変更したいのであれば、ミーティングに一度参加してからとなります。

- ① Zoom ミーティングに参加
- ② 画面下部にある“参加者”のタブをクリック
- ③ 自分の名前にカーソルを合わせる
- ④ 「詳細」ボタンが現れるのでクリック
- ⑤ 名前の変更が表示されるのでクリック
- ⑥ 任意の名前に変更をする

iPhone や android のスマホ、タブレットアプリもほぼ同じ操作で名前の変更ができます。

東日本区の現況

東日本区理事 板村哲也(東京武蔵野多摩)

主題「変化をたのしもう！」

副題「助け合い、分かち合い」

I. 基本方針

- (1) 変化 (変わっている、変わろう、変えよう)
環境は常に変化している。会員数の減少に潜む問題の本質を捉え、まず自分(個人/Y's)が変わり、次に周りを変えよう。
- (2) 助け合い、分かち合い
相手を思いやる心は10万年前にヒトが人間になれた理由。現在の人類がDNAとして持つ。ワイズの基本。この心を忘れない。
- (3) みんなちがって、みんないい
ちがいが、多様性を認め合い、お互いに尊重し合い、共存。

II. 取り組むべき課題

- (1) EMC : Change! 2022 推進 (Y's の質、量の変化)。充実した奉仕活動のために。
- (2) 組織の在り方の検討 (法人化の検討)
- (3) 外部への広報活動
(SNS の活用、会員一人一人が広報マン)
- (4) 活動のベクトル(力の大きさと方向)の変更。
内向き(仲間向き)から外向き(世間向き)へ。
- (5) 世代交代、後継者育成
- (6) YMCA との関係強化
(イコールパートナーとして)
- (7) 国際・アジア太平洋地域への関与

III. クラブ・会員の現状

今年度会員増強目標：150名

2019年7月1日		2020年1月1日		2020年7月1日		2021年1月1日	
会員数	クラブ数	会員数	クラブ数	会員数	クラブ数	会員数	クラブ数
849	61	875	61	830	60	838	61
▲11	2	26	±0	▲45	▲1	8	1

2021年1月1日～1月31日の動静：会員純増5名。

IV. 現況 (活動報告)

1. 区運営

- ・強調月間変更
- ・2020-2021年度前期区費支払免除
- ・2020-2021年度予算修正
- ・区でZoomアカウント契約
- ・Zoomによるリモート会議浸透(区/部/クラブ)
- ・諸会議の書類のデータ化浸透
- ・富士クラブから区に100万円寄付(8月)
「樫村メモリアルプロジェクト」として運用
- ・会計規則およびシステム検討小委員会発足
- ・法人化準備委員会発足
- ・区事務所閉鎖

2. 新クラブ

- ・千葉ウエストクラブ

設立総会(7/18)、チャーターナイト(10/3)
会員8名

- ・下記の地域に新クラブ設立の動き
牛久地域、新宿地域、甲府、文京区、沖縄、静岡

3. 中期取組事業

- (1) Change! 2022 プロジェクト(継続)
 - ・2019.7スタート、2022年末までに会員数1246名またはそれ以上を目標。毎月委員会開催、毎月ニュースレターを発行。クラブFBを開設、アクションプランIIを策定済み。
 - ・EMC事業委員会を拡大EMC事業委員会とし、2か月に1度開催。
- (2) 東日本区の法人化
 - ・文献・組織検討委員会より理事に答申あり。
 - ・第2回役員会で法人化準備委員会を設置。

- ・今年度の年次代議員会で一般社団法人設立の承認を目指す。
- (3) ワイズ 100 周年/東西日本区 25 周年記念行事
 - ・東西交流実行委員会(注:東西合同)発足(1/11)
 - ・委員長:古田西日本区理事
 - ・開催:2023年1~2月(於:西日本区)

4. 行事

- (1) 諸会議 (開催方法は全て Zoom)
 - ① 役員会
 - ・第1回役員会(7/11)
 - ・臨時役員会(8/18)
 - ・第2回役員会(11/7)
 - ② 臨時代議員会
 - 8/29
 - ③ 東西理事連絡会議
 - 10/11
 - ④ 東西交流実行委員会
 - 1/11、2/7
 - ⑤ YMCA/Y's パートナリシップ委員会
 - 9/1、12/10
 - ⑥ 法人化準備委員会
 - 11/20、12/18、1/15、2/19
 - ⑦ 文献・組織検討委員会
 - 7/20、9/29、10/12、10/27、12/14、2/15
 - ⑧ LT 委員会
 - 8/14、10/16、1/22、2/26
 - ⑨ CS・Yサ事業委員会
 - 9/25
 - ⑩ EMC 事業委員会
 - 8/19、10/21、12/2、2/3
 - ⑪ Change! 2022 推進委員会
 - 7/1、8/5、9/9、10/7、11/4、12/6、1/8、2/5、3/5
 - ⑫ 国際・交流事業委員会
 - 9/20
 - ⑬ ユース事業委員会
 - 8/6
 - ⑭ ワイズメネット委員会
 - なし
 - ⑮ 東日本大震災支援対策本部会議
 - 1/24
- (2) YVLF (9/11-13)
 - 中止
- (3) 部大会
 - ・実施(関東東部 10/3、東新部 10/10、あずさ部 10/17、富士山部 9/26、湘南・沖縄部 10/3)
 - ・中止(北海道部、北東部)
- (4) YMCA STEP II 出講
 - 10/26 (Zoom)

- (5) 次期部長・事業主任研修会
 - 10/31 (Zoom)
- (6) 東日本大震災 10 年行事
 - ・3.11 礼拝と追悼の集い(3/11 於石巻)
 - ・献金(3/11 於石巻)
 - ・東日本大震災 10 年誌発行(年度末)

5. JEF

- ・7/1~1/31 献金 31 万円、残高 12,806,213 円

6. 広報

- ・区報第1号発行(7月)
- ・理事通信発行(毎月)

7. 人事(敬称略)

- ・事務所長 小林隆
- ・次々期理事 佐藤重良(甲府 21 クラブ)
- ・区ユース代表(RYR) 石井悠紀子

8. 国際

- ・第18回 IYC/第74回国際大会(8月@デンマーク)中止
- ・国際会議(ICM20)(8/8-10 Zoom)
- ・国際選挙(1/29 オンライン)
- ・BF 代表来日延期

9. アジア太平洋地域

- (1) 会議・研修(全て Zoom)
 - ・地域会議(8/15-16)
 - ・理事・次期理事会議(11/6)
 - ・地域事業主任会議(11/21)
 - ・地域第一四半期会議(12/5)
 - ・次期理事研修会(1/16)
 - ・地域年央会議(2/28)
 - ・地域リーダー育成プログラム(11/28)
 - ・次期理事トレーニング(1/16)
 - ・GOLD(9/27)
- (2) その他
 - ・地域ブリテン No.3 に東日本区特集掲載(12月)
 - ・理事 2 名逝去(東南アジア区、フィリピン区)

V. 今後の主な予定

- ・次期会長・部役員研修会(3/6 Zoom)
- ・3.11 礼拝と追悼の集い(3/11 於石巻 ハイブリッド)
- ・第3回役員会(4/10 Zoom)
- ・第4回役員会(6/11 Zoom)
- ・代議員会(6/12 Zoom)
- ・第24回東日本区大会(6/12 リモート)

以上

国際協会・アジア太平洋地域の現状

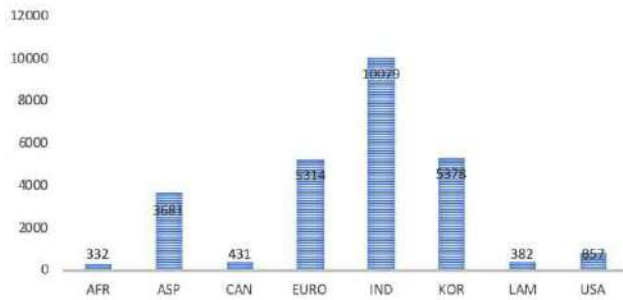
国際議員・次期アジア太平洋地域会長 大野 勉（神戸ポート）

1. 国際協会・アジア太平洋地域の現勢(2020.2 現在)

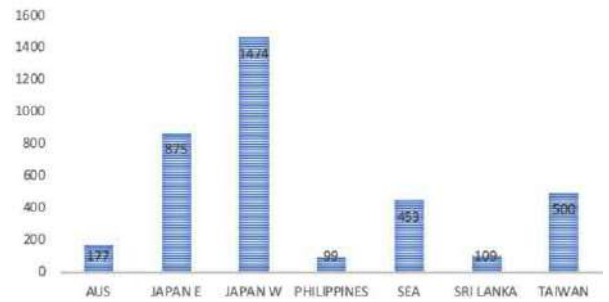
<国際協会>

<アジア太平洋地域>

地域別メンバー数



区別メンバー数



地域	クラブ数	メンバー数
アフリカ	38	332(176)
アジア・太平洋	226	3681(3636)
カナダ・カリブ	26	431(411)
ヨーロッパ	249	5314(5314)
インド	672	10079(10079)
韓国	232	5378(5378)
ラテンアメリカ	34	382(348)
USA	64	857(857)
合計	1527	26454(26199)

区	クラブ数	メンバー数
オーストラリア	11	177(157)
東日本	61	875(875)
西日本	80	1474(1474)
フィリピン	9	99(96)
南東アジア	29	453(425)
スリランカ	10	109(109)
台湾	24	500(500)
合計	226	3687(3636)

*国際会費納入率 99.16% ()内数は納入人数

<献金での貢献>

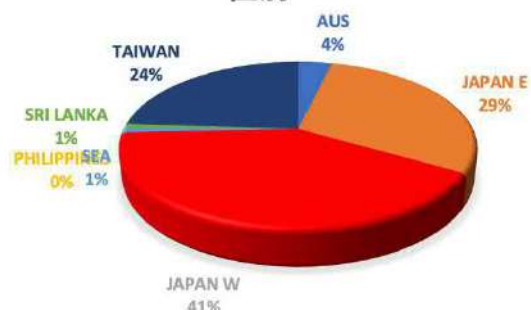
Appendix V - 2019/20 Programme Contributions

AREA / Region	INTER'L ASF	BF	STAMPS BF	TOTAL BF	EF	TOF	RBM	YES	TOTAL CONTRIB.	% CONTRIB.
ASI Pacific Australia	181	850		850		1282	764		3076	1,04%
Japan East	1111	10056	157	10213	1000	7889	4475		24687	8,37%
Japan West	1755	9818	304	10122	1221	13965	6993		34056	11,55%
Philippines				0					0	0,00%
South East Asia	126	215		215		215	184		740	0,25%
Sri Lanka	1	308		308	119	226	29		683	0,23%
Taiwan	324	7811		7811	4967	2951	3891		19944	6,76%
ASI PACIFIC (Sub-Total)	3497	29058	460	29518	7307	26528	16336	0	83187	28,21%

地域別



区別



2. アジア太平洋地域所属の国、地域

日本、フィリピン、香港、マカオ、シンガポール、マレーシア、タイ、ミャンマー、バングラディッシュ、カンボジア、スリランカ、台湾、オーストラリア、ネパール、パキスタン 合計 15 か国
(ネパール、パキスタンは 2019-2020 年度に新クラブ設立、モンゴルは 2019-2020 年度にクラブ解散)

3. 国際協会・アジア太平洋地域執行役員

国際協会 (2020-2021)

会 長: ジェイコブ・クリステンセン(デンマーク)
直前会長: ジェニファー・ジョーンズ(オーストラリア)
次期会長: キム・サンチェ(韓国)
会 計: フィリップス・チェリアン(インド)

アジア太平洋地域 (2020-2021)

会 長: デビッド・ルア(シンガポール)
直前会長: 田中博之(東京多摩みなみ)
次期会長: 大野 勉(神戸ポート)
書 記: 利根川恵子(川越)
会 計: ジョン・ポンタフラクト (オーストラリア)

4. 主題・スローガン

<2020-21 国際会長> Jacob Kristensen(Denmark)

主題: 価値観、エクステンション、リーダーシップ (Values, Extension and Leadership)

スローガン: 命の川を信じよう (Trust in The River of Life)

<2020-21 アジア太平洋地域会長> David Lua(Singapore)

主題: 変化をもたらそう (Make a Difference)

スローガン: 奮い立たせよう (Inspire)

<2021-22 国際会長> Kim Sanche(Korea) キム・サンチェ (韓国)

主 題 “Y's Men with the World” 「世界とともにワイズメン」

スローガン “Heal the World with Love & Dignity” 「愛と尊厳で世界を癒そう」

<2021-22 アジア太平洋地域会長> 大野 勉 (神戸ポート) OHNO Ben Tsutomu(JWR)

主 題 “Make a difference beyond the 100th” 「100 年を越えて変革しよう」

スローガン “Be healthy!” 「健康第一！」

5. 国際協会/アジア太平洋地域会費・NDERF

国際協会: 17.5 スイスフラン/半期

アジア太平洋地域: 3US ドル/半期

NDERF (自然災害緊急支援基金): 2US ドル/年

6. 国際表彰 (2019-2020 年度表彰 東西日本区関連)

● 区業績表彰

東日本区 (ブロンズ賞)

● エルマー・クロウ賞

➤ 東日本区: 鈴木伊知郎 (宇都宮東)

➤ 西日本区: 理事からの推薦なし

- 国際ブースター賞
 - クラブ賞（6名以上の会員増加）
 - ◇ 東日本区：甲府 21 クラブ
 - ◇ 西日本区：京都グローバルクラブ
 - 個人賞（3名以上の入会者紹介）
 - ◇ 東日本区：6名
 - ◇ 西日本区：5名
- チャレンジ 22 表彰
 - 各区内で最多のメンバー増員があったクラブ
 - ◇ 東日本区：甲府 21 クラブ
 - ◇ 西日本区：京都グローバルクラブ
 - 各地域内で最多のメンバー増員があった部
 - ◇ 京都部
 - 「会員増強 100 日間キャンペーン」（2019.9.1-12.9）期間中に入会者があったクラブ
 - ◇ 東日本区：15 クラブ
 - ◇ 西日本区：21 クラブ
- CS 表彰
 - 仙台 4 クラブ（東日本区）
- エssenシャルワーカー表彰（コロナ禍において人々の生活に必須の仕事を担当しているため、自宅の外で、危険を顧みず業務を遂行した者。クラブ会長からの推薦によって表彰）
 - 東日本区：9名
 - 西日本区：11名

7. チャレンジ 22 (Challenge22)

2019年4月、「2022年とその先に向けて」で定められた目標を達成するための実施計画である「チャレンジ 22」が発表され、国際会長/国際書記長から全世界のクラブ会長に発信された。計画は、具体的に7つのチャレンジ（取り組み課題）を挙げ、それぞれの課題に国際本部、各区、各クラブなどがどのように対応すべきかが示されている。

(1) 認識を変える

国際本部と各メンバー間のよりタイムリー、緊密なコミュニケーションを図り、活発な意見交換を行う。

(2) ブランドイメージの強化

アイデンティティを大切にし、国際協会ウェブサイトを外へへのアピール、新規会員獲得に資するものにする。

(3) 遺産と共通のインパクト

創始者である P・W・アレキサンダーを顕彰し、また伝統を受け継ぎ、発展させるためのプロジェクトを実施し、そのための献金を募る。また、各クラブの優れた活動を取り纏める。

(4) YMCA との連携強化

各レベルでの「パートナーシップ覚書」締結を推進したり、両方の組織で会員を増やしたりする。

(5) 100 か国にワイズを

ターゲットとする、現在ワイズがない 36 か国を選定し、クラブ設立活動を国際本部が支援

する。

(6) 3,000 クラブ

全ての区にエクステンションチームを設置し、また全てのクラブが新しいクラブの設立に挑戦する。

(7) 50,000 名の会員

全てのメンバーが友人・知人ひとりを会員にすることに挑戦する。

<会員増強のための今年度の施策>

- メンバーの配偶者、26-35歳の者が新たに会員になった場合、国際会費を半額にする。
(2022-2023年度前期まで適用)
- オープンハウス（入会候補者へのクラブ紹介のイベント）開催の奨励
- グローバルクラブ（グローバル+ローカル）の設立の奨励。リモート会議で例会等に参加する遠隔地会員を会員とする仕組み。東西日本区の「広義会員」と同様の仕組み。

8. P・W・アレキサンダー遺産計画

<計画の概要>

- オハイオ州トレドに墓碑、記念壁設置、トレドの公園の名称を変更（完了）
- 記録文書のデジタル化、公開（進行中）
- ジュネーブの国際本部の事務所スペース購入（保留）
- 新しい国際奉仕プロジェクトの開設（検討中）

<献金目標>

- 2019年度から3年間で100万USドル
- アジア太平洋地域：10万USドル、東日本区23,661USドル、西日本区40,765USドル
- 個人献金額に応じて表彰が行われる。

9. トピックス

- 「会員増強100日間キャンペーン」の継続実施（9月1日から12月9日まで）
- 今年度の国際協会としてのASF 献金寄付先の決定
世界YMCA同盟からの要請に応じて、「YMCA連帯基金」（YMCA Solidarity Fund）に10,000スイスフランを寄付。同基金は、世界でコロナ禍によって経営の危機に瀕している各国のYMCA同盟を支援するために設立されたもの。
- 「Week4Waste」（ゴミのための週）の取り組み
世界のワイズが地元の清掃活動に取り組み、環境改善、ワイズの認知度アップを図る。年度を通じての取り組みに加えて、2021年4月18日～24日を世界で一斉に取り組む週とする。

10. 今後の予定と国際選挙

- 2021年8.11～15日：アジア太平洋地域ユースコンボケーション（台湾・台南）
（国際ユースコンボケーションと合同開催の予定）
- 2021年8.13～15日：第29回アジア太平洋地域大会（台湾・台南）
- 2022.8.11～14日：第75回国際大会（米国・ハワイ州・ホノルル）
（Let' dance Hula! Honolulu Morning Run & Walk 等）
- 国際選挙（今期の例）
2020.12.5：会員数5～14名（創立25年以上）のクラブの選挙権の適応除外申請締めきり
2021.1.29：国際選挙、投票締め切り（クラブ会長が国際協会ウェブサイトに入力）

日本YMCA同盟

2020.11.26

YMCAブランドの約束と実行をさらに結びつけるために

YMCAブランドの多岐にわたる活動を、4つの領域（赤枠1～4）と5つの目的（「日常生活」ほか）で整理し、私たちの全国での活動を一覧で「見える化」しました。

とりわけ、私たちの共通の強みである「個人に寄り添う力」を、子育て・子育て領域から発揮するための新たな取り組みとして「YMCA伴走サポート」を推進していきます。



YMCAの全人的成長プログラム



YMCA伴走サポート

		幼児	小学生	中高生	学生	社会人
活動目的	日常生活	1 子どもの成長に寄り添う 子育てと子育て チャイルドケア → アフタースクール 発達支援 / 放課後等デイサービス		2 若者の力を信じる ユースエンパワメント 自立 就学・就労支援		3 健やかな生活を支える 生活クオリティの向上 高齢者支援
	学びと習得	インターナショナルスクール	フリースクール・進学指導	高校生事業	専門学校	文化教室
	身体形成	幼児・小学生英語	英語・テクノロジーによる課題解決プログラム	成人英語	成人ウエルネス	
	総合的な実践	幼児・小学生ウエルネス	中高生ウエルネス	成人ウエルネス		
	課題の解決と献身	幼児・小学生野外 / キャンプ	中高生野外 / キャンプ			
		地域コミュニティ活動（国内・海外） 4 社会貢献の地域基盤となる 社会に貢献 ジュニアリーダー活動 → リーダー活動・学生YMCA → 会員活動・ボランティア				

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。
 （ローマの信徒への手紙 12章15節）

いまこそ、ポジティブネット

SDGs × YMCA グローバル・パートナーシップ

YMCAはポジティブネットのある豊かな社会を創造します。
 持続可能な開発目標 (SDGsエス・ディー・ジーズ) とは、2015年9月に国連サミットで採択された2030アジェンダ*の開発目標です。17の目標・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残されない (Leave no one behind) 世界の実現を誓っています。国内外で広がる貧困や格差、紛争や気候変動の課題、子どものいじめや虐待など、世界の共通課題に向けて、YMCAも国内外のグローバルなパートナーシップを活用し、若い世代が中心となって世界を変える一翼を担っています。
 *我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ



誰もが、公正・公平に夢をかなえる チャンスのある地域社会の創造

- 子どもの学びや体験の機会を、公平に提供します。
- YMCAの諸外国の先進的事例を取り入れ、感染症対策を進めます。
- コース世代の学びと生活、将来設計を支援します。
- すべての人に新しい健康づくりを提唱し、心と体、精神にわたる免疫力を高めます。
- 地域のシニア世代の見守りと健康づくりを進めます。
- 医療、保育、介護、流通等の地域の生活を支える方々を支援します。
- 心ない偏見を生まないよう予防活動を展開します。
- 子どもとご家族に伴走し、子どもの成長について保護者とコミュニケーションを図ります。

アクションブック YMCA BRAND



YMCA伴走サポート



YMCA伴走サポートは、ひとりの子ども、ひとつの家庭に寄り添いながら、一貫して子育てと子育てを応援し続ける、YMCAのオリジナルプログラムです。
 その子に合った成長を長い目で見守りながら、日々の体験で得られたエピソードを記録し、保護者やご家族の方への個別面談を通じて定期的にフィードバックします。個別面談の際には、YMCAが長い歴史の中で大切にしてきた、全人一貫教育のための「成長応援指標」に基づいて、その子ならではの成長や個性、良い所をお伝えしながら今後への期待などについて話し合います。
 また、その時々合った体験活動やYMCAのプログラムをご紹介することで、さらなる成長を長期にわたって誰よりも近くでサポートしていきます。

成長応援指標

A 自分をつくる	1 想像力
	2 創造力
	3 論理力
	4 基礎体力
B 他人とつながる	5 自己規律力
	6 言語によるコミュニケーション
C みんなでよくなる	7 感情によるコミュニケーション
	8 リーダーシップ/フォロワーシップ
	9 シチズンシップ

2020年11月現在

YMCA Brand Concept 私たちの約束

Vision

YMCAが実現したい世の中の姿

互いを認め合い、高め合う
「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る。

「ポジティブネット」 Positive Net
 互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、善意や前向きな気持ちによってつながるネットワークのこと。課題の多い社会のなかで、それは、生きるためのひとつの選択肢となっていく。私たち日本のYMCAは、グローバルなネットワーク基盤を活かしてポジティブネットを広げ、希望あるより豊かな社会を創ります。

Value

YMCAがステークホルダーに提供を約束する価値

したい何かがみつき、誰かとつながる。
私ができる、かけがえのない場所。

みつかる Encounter つながる Connect よくなる Transform

Personality

ブランドとして備えているべき個性、らしさ

心をひらき、わかち合う。
前向きで、まわりを惹きつける魅力を持つ。

Open & Sharing.
Proactive & Attractive.

ポジティブネットYMCA募金活動

YMCA国際協力募金

海外支援・交流、指導者養成・コース育成、教育・啓発活動、日本で暮らす外国人サポート等に用います(年間募金額約5千万円)。「子どもたちが未来を創る」をテーマに、アジアの子どもたちの教育や衛生環境の整備をはじめ、国内の多文化共生プログラム、難民支援などに注力しています。

YMCA子ども・ユース・地域支援募金

コロナの影響を受ける青少年たちに学びや体験の機会の提供や、地域のシニア世代の見守りや健康づくりなど、行政・企業・諸団体と連携して進めています。

災害(地震・豪雨等)被災地支援募金

障がい児・者支援のための募金・チャリティ活動

自然エネルギー転換による募金



子どもの成長に寄り添う

子育てと子育て

約**300,000**人

YMCAは、多様なサービスやプログラムを通して、子育て・子育ての両面から子ども一人ひとりの成長に寄り添っています。保育やアフタースクールといった安心の場づくり、ウエルネスや語学教育、国際交流といった出会いや成長の機会。YMCAの子育て・子育てのネットワークは全国に広がっています。

日常生活 約**14,000**人

チャイルドケア (保育園・幼稚園・こども園) 全国約70拠点

子どもたちの生活の場として、ご家庭・地域との連携を大切にします。ひとり子ども、ひとつの家庭に寄り添い、その子ならではの個性や良いところをご家庭と共有しながら、一貫して子育てと子育てを応援します。



学びと習得 約**7,000**人

インターナショナルスクール 幼児・小学生英語
進学指導 文化芸術

発達段階に応じて楽しく学ぶことから始め、コミュニケーションの素地を養い、多彩に自己表現ができることをめざします。実践的な異文化理解を通して、将来にわたるグローバルな視点を養います。



身体の形成 約**16,000**人

幼児・小学生ウエルネス (各種スポーツクラス)

幼少期の基礎的な体力づくり、スポーツ習得は一生の財産となります。水泳、体操、サッカー、バスケットボール、ダンスなどのクラスを展開。技術の向上に加え、上達する楽しさ、チームワークの大切さを学び、心身の成長を促します。



総合的な実践 約**65,000**人

幼児・小学生自然体験活動

キャンプ (サマーキャンプ・ウィンターキャンプ・定例活動)

子どもたちは自然の中で五感を養います。特にキャンプは、小グループで生活を送ることで、異なる意見がありながら協働して課題解決に臨む体験となり、今後のAI時代においてもっとも重視される人間力が育われます。



課題の解決と献身 約**200,000**人

YMCAウォーターセーフティキャンペーン

ピンクシャツデー (いじめと向き合う)

国際交流

人と関わる体験を重ねることを通して、一人ひとりのいのちを守り、違いを認め合い、他者と共に生きる力を育みます。



若者の力を信じる

ユース エンパワーメント

約**90,000**人

YMCAは、幅広い分野の学校や学習の場、ボランティア活動を通して、若者の成長を応援しています。夢の実現に必要な知識やスキルの習得にとどまらず、さまざまな体験や出会いの中で人間力を育んでいく。YMCAのユースエンパワーメントはこれからも若者の成長を力強く支援していきます。

日常生活 約**10,000**人

アフタースクール 全国約80拠点
(学童保育・児童発達支援・放課後等デイサービス/サポートプログラム)

オルタナティブスクール・就労支援

学校での時間よりも長く過ごす子どもたちに、YMCAの総合力を活かした関わり、安心の場づくりを進め、高い評価を得ています。



学びと習得 約**10,000**人

専門学校 全国18校

人材養成 (健康・福祉・医療・スポーツ・ビジネス・ホテル・語学)

日本語学校 全国16校

単位制高校

インターナショナルスクール

IB一貫教育

高校生事業

職業教育や語学・テクノロジー教育など、将来の可能性を拓く学びを提供しています。人と良い関係をつくり、考えに耳を傾け協働し、問題解決に向けて意見を伝えることをめざしています。



身体の形成 約**7,000**人

中高生ウエルネス (各種スポーツクラス)

水泳、サッカー、バスケットボール、新体操、空手、ダンスなどを行っています。相手を尊重し、フェアプレーを実践し、楽しさを見出しながら主体的に参加することを大切にします。



総合的な実践 約**60,000**人

キャンプ (サマーキャンプ・ウィンターキャンプ・定例活動)

インターナショナル・キャンプ

国内外を問わず日常とは異なる環境に身を置き、小グループで自然との共存を体験します。多様なアクティビティにチャレンジし、目標達成、課題解決のために力を合わせます。



課題の解決と献身

ボランティアリーダー活動 (スポーツ・キャンプ)

社会課題解決型の総合的なユースリーダー活動 (国内外)

大学サークル・寮活動

ユースボランティアとして子どもたちのキャンプやスポーツのサポート、社会課題解決のためのユースリーダー活動、SDGsへのグローバルな取り組みなど活発に行っています。



日常生活 約3,500人

高齢者ホーム

デイサービス

訪問介護・地域包括支援センター

年齢を重ねても、自分らしく生きることはすべての人にとって幸せの原点です。一人ひとりの願う生活スタイルを支えるために、できることを見つけ、喜びを分かち合う支援をめざしています。



学びと習得 約3,000人

生涯教育 文化・芸術
語学学習 歌声・ダンス

語学学習、美術や音楽活動などを通して、世代を超えた仲間の輪が広がります。スキルや経験を活かしたボランティア活動の機会も多く、留学生や在日外国人のサポート、子育てサポート、歌声広場など多岐にわたります。



身体の形成 約15,000人

成人ウエルネス(各種スポーツ・フィットネスクラス)

介護予防・認知症予防体操

いきいきと自立した生活をめざして「自分の健康を守る」ことのできる習慣づくりを支えます。スイミング、ジムマシンなどのほか、免疫力の向上にも配慮した介護予防運動指導も幅広く展開しています。



課題の解決と献身

地域コミュニティ活動

地域コミュニティのために、一人ひとりにできることはなんだろうか。YMCAでは、興味関心、特性に応じて参加できるボランティア活動がたくさんあります。



YMCA Global Network

世界120の国と地域に広がるYMCAネットワーク。国際連合(国連)では諮問資格を持ち、世界規模の課題解決型プロジェクトを動かす、ユース世代がリーダーシップを発揮しています。



ワイズメンズクラブ国際協会

YMCAの支援や協働を行う世界規模の奉仕団体で、日本でも全国141クラブがあります。インターナショナル・チャリティーランを始め、災害支援、募金活動をYMCAと地域を支えています。

健やかな生活を支える

生活クオリティの向上

約25,000人

3

YMCAは、高齢化社会に対応する事業や活動にも注力しています。健康寿命の延伸や知的好奇心の追求、社会とつながる機会を提供し、いきいきとした健やかな生活を支えます。YMCAは、その人らしく生きることのできるQOL (Quality of Life) の向上に貢献します。



社会貢献の地域基盤となる

社会に貢献

4

YMCAは、広く社会問題を解決するための活動に取り組んでいます。社会の課題を自分ごととして捉え解決のためのアクションに向かう。日本、そして世界に広がるネットワークと多様な活動領域を活かし、YMCAが地域の活動の基盤となって、社会貢献の力を広げていきます。

日常生活

ピンクシャツデー

いじめについて共に考え、傍観者にならないよう、学習会・講演会の開催、子どもたちがピンクのものを身につけるアクションなどを行っています。



ウォーターセーフティ・キャンペーン

「自分のいのちを守り、みんなのいのちを大切に」。子どもたちを水難事故から守るよう、水上安全スキルを全国の小学校で伝えています。

学びと習得

Amazon Future Engineer

「誰もがテクノロジーで世界を変えられる」をテーマに、さまざまな背景を持つ小学生～高校生を対象にプログラミング学習の機会を提供しています。



身体の形成

NIKE-YMCA Play Academy for Girl's Initiative

女の子が安心・安全な環境で体を動かし、スポーツを通してリーダーシップを発揮するチャンスを提供しています。

インターナショナル・チャリティーラン

14,000人のランナーとボランティアが活躍し、益金を障がい児・者のためのプログラム運営資金として用いています。

総合的な実践

公益協働事業 全国約40拠点

各自治体から指定管理・PFI事業の委託を受け、保育園、アフタースクール、コースプラザ、体育館、自然の家等の運営を行い、地域の公益性を高めています。

課題の解決と献身

地球温暖化世界ユース会議参画

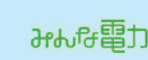
高校生による社会課題解決アイデアソン

企業との協働プロジェクト

災害被災地支援・防災減災教育活動

各種国際協力・支援事業

協力・協働企業(一例)



2021-2022 理事主題

大久保知宏（宇都宮）

- 1) 国際会長 キム・サンチェ(韓国)

主題	“Y’s Men with the World”	「世界とともにワイズメン」
スローガン	“Heal the World with Love & Dignity”	「愛と尊厳で世界を癒そう」

- 2) アジア太平洋地域会長 大野 勉(神戸ポート)

主題	“Make a difference beyond the 100th”	「100 年を越えて変革しよう」
スローガン	“Be healthy!”	「健康第一！」

- 3) 東日本区理事 大久保 知宏（宇都宮）

主題	私たちは次の世代のために何ができるか？	
	“ Think for the next generation.”	
スローガン	絆を深める時	
	“ We are stronger together than we are alone.”	

2021-22 年度はワイズメンズクラブが生まれて 100 年の節目の年です。同時に次の 100 年の始まる年となります。次の世代を育て、何を伝えていくのかを考える年とすべきと思います。コロナウイルスなどの影響を受ける年になることが予想されますが、それに対応した制度を作っていく年度にしていかなければならないと考えています。

次の 100 年のためにできることの一つが、スローガンとした絆を深める時であると考えました。コロナウイルスは個人の身体的な脅威であると同時に、組織の弱体化を引き起こしています。組織の弱体化を止めるためには会員の絆を深めることが最重要と考え、スローガンとしました。

重点課題として次のことを掲げます

東日本区が法人化したメリットを最大限に活かす。

一般社団法人として信用度を高め、会員増強において Change!2022 の目標を達成する。

一般社団法人として、対外的な情報発信力を高める。

新しい生活様式に沿ったクラブ運営を行う。

対面にこだわらず、会員の健康を最優先とした運営を行う。

新たな環境に対応できるようトレーニングを行う。

新しい組織を検討する。

組織力の低下を補う新組織を構築する。

グローバルクラブを設立する。

現役リーダーのユースクラブを設立する。

今回のパンデミックの発生という事態に対応したクラブの在り方を考えなければなりません。企業が事業継続計画を策定し、こうした事態に対応するように、ワイズメンズクラブもこうした事態での組織存続をどのように図るのかを計画しなければならないと思います。現在の状況での組織存続のカナメは何と言ってもクラブの会員維持にあります。経済状況は様々ですが、コロナの影響を大きく受けられている会員もいらっしゃると思います。区としては緊縮予算を策定して、区費負担の軽減を図っていきたいと考えています。

2021-2022年度 東日本区行事予定

20210216

年	月	強調月間	東日本区行事・報告・送金		各部・西日本区等		国際・YMCA			
2021	6		11	第4回役員会 (甲府)	5-6	西日本区大会				
			12	代議員会 (甲府)						
			12-13	第24回東日本区大会 (甲府)			19-20	第10回日本YMCA同盟協議会		
	7	キックオフ	10	各クラブ前期半年報部長宛提出						
		Change!2022	10	第一回役員会 (Zoom)						
		PR	15	各クラブ前期半年報 (部長→会員増強主任)						
			31	前期区費請求書発送						
	8	LT	15	前期区費納期				10	国際半年報	
		IBC	28	臨時代議員会 (Zoom)		21	北海道部大会			
	9	EMC	10-12	ユースボランティア・リーダーズフォーラム		4	北東部大会			
						25	富士山部大会		国際会長候補者推薦	
	10	BF				2	関東東部大会			
						9	東新部大会			
		TW22				16	あずさ部大会			
			30	次期部長・事業主任研修会 (Zoom)		23	湘南・沖縄部大会			
	11	ASF	6	第2回役員会 (Zoom)					YMCA大会 (東山荘)	
			10	ワイズデー						
	12	キリスト教理解記録	8	祈りの輪						
									国際役員投票	
	2022	1	EF	10	各クラブ後期半年報部長宛提出 (クラブ会長→部長)					国際役員投票スイス必着
				15	同上 (部長→会員増強主任)					
				31	後期区費請求書発送					
				31	次期部役員・クラブ会長報告 (次期部長→区)					
		2	TOF	15	後期区費納期				10	国際半年報
15				各種献金納期 (クラブ→部)					国際協会年央会議 (済州島)	
28				各種献金納期 (部→区)					RDEサミット (済州島 (Jeju Island))	
3		CS	5-6	次期クラブ会長・部役員研修会						
			11	代議員会告示						
4		UN Project	1	代議員会議案締切			東西理事連絡会議 (西日本区)			
			9-10	第3回役員会 (現・次期合同)						
5		ブランディング	11	代議員会議案送付						
	14		JEFエントリー締切							
			Week 4 Waste							
6	YMCAリエゾン	3	第4回役員会 (宇都宮)		11-12	西日本区大会				
		4	代議員会 (宇都宮)							
		4-5	第24回東日本区大会 (宇都宮)				18-19	第10回日本YMCA同盟協議会		
7		中旬	次年度役員会							
		下旬	臨時代議員会 (郵便)							
8										

2021-2022年度 東日本区役員および委員長等（案）

東日本区役員	常任役員	理事	大久保知宏	宇都宮
		次期理事	佐藤重良	甲府21
		直前理事	板村哲也	東京武蔵野多摩
		書記	衣笠輝夫	埼玉
		会計	鈴木伊知郎	宇都宮東
	事業主任	地域奉仕・YMCAサービス事業主任	深尾香子	東京多摩みなみ
		会員増強事業主任	大川貴久	熱海
		国際・交流事業主任	山田公平	宇都宮
		ユース事業主任	三田庸平	もりおか
	部長	北海道部部长	中村義春	十勝
		北東部部長	南澤一右	仙台青葉城
		関東東部部長	大澤和子	所沢
		東新部部長	松香光夫	東京町田コスモス
		あずさ部部長	長谷川あや子	東京八王子
湘南・沖縄部部長		若木一美	横浜とつか	
富士山部部長		小原進一	熱海	
監事		漆畑義彦	富士	
		未定		
委員会	常置委員会	文献・組織検討委員会委員長	駒田勝彦	甲府21
		LT委員会委員長	山下 真	十勝
		東日本ワイズ基金運営委員会委員長	高田一彦	千葉ウエスト
		東日本奈良傳賞選考委員会委員長	大久保知宏	宇都宮
	事業委員会	地域奉仕・Yサ事業委員会委員長	深尾香子	東京多摩みなみ
		EMC事業委員会委員長	大川貴久	熱海
		国際・交流事業委員会委員長	山田公平	宇都宮
		ユース事業委員会委員長	三田庸平	もりおか
		ワイズメネット委員会委員長	澁谷実季	所沢
	特別委員会	東日本区大震災支援対策本部本部長	大久保知宏	宇都宮
		東日本区事務所人事委員会委員長	佐藤重良	甲府21
		Change! 2022推進委員会委員長	栗本治郎	熱海
専任委員等	ヒストリアン	仙洞田安宏	甲府	
	ITアドバイザー	山下 真	十勝	
	トラベルコーディネーター	長澤山泰	東京	
	広報・伝達（PR）専任委員	佐竹 誠	東京ベイサイド	
東日本区担当主事	担当主事	光永尚生	三島	
理事スタッフ	副書記	未定		
	副会計	未定		
東日本区事務所	東日本区事務所長	小林 隆	沼津	

2021-2022 年度 地域奉仕・YMCA サービス事業方針

地域奉仕・YMCA サービス事業主任

深尾香子（東京多摩みなみ）

事業主題：「振り返り、自信をみつけ、踏み出そう」

副題： 「100年後の誇りに向けて」

活動方針

ワイズ 100 周年を目前にした今、私たちはひとりひとりが自分の命を守ることに神経を尖らせて1年を過ごしました。一方で新たに「つながる」可能性を、ネット環境の中に見つけました。

今年度のCS・Yサ事業は、昨年度の基本姿勢「地域社会とYMCAをつなぐ架け橋になる」を継承し、新たな道具を有効活用して、クラブ間の繋がりだけでなく、我々が未来を託す若者たちとの連携を重点項目の一つとしてYMCA・ユース・ワイズが手を取り合うことを模索します。未だ、不自由な社会情勢の中ではありますが、3者が共感出来る課題(*)を見つけ出し、解決に向けて、新しい一歩を踏み出しましょう。

(*)参考：東日本区定款第2条第3項(2) a～f 参照。

活動内容

下記について、クラブ会長・部主査、4主任等の参加を期待し、Zoom会議室を利用した情報交換の中で推進します。

- (1)各部、クラブにおける「順延」「中止した活動」「実施出来た活動」を振り返ります。
(2)次いで、それらと2者、3者の連携、及びコロナ禍での継続の可否を考え、優先順位を考えます。
(3)そこから新しい活動を立ち上げ、あるいは既存事業を再構築して実施へと進めます。
(4)認知度、知名度を上げるため、これらの活動の一般社会に向けたPR、広報を検討します。
- 1～4を、一昨年度から取り組んでいる下記データベース（名称の変更を検討）へ反映し、情報の収集、完成、公開に向けて再始動します。
 - ・仮称) with コロナ「新・地域奉仕サービス活動」
 - ・仮称) with コロナ「新・YMCA サービス活動」
 - ・仮称) with コロナ「プロボノリスト」(←ジョブリスト改め)
- 災害発生時の安否確認と、支援体制の整備
- ワイズ・YMCA パートナーシップ委員会（東日本区）との情報共有と、協働発信。
- 「CS・Yサ・ASF 資金運用規定」の見直し

表彰項目 例年実施しておりました「地域奉仕・YMCA サービス写真コンテスト」は、上記2のデータベースによる活動紹介を以て代えさせていただきます。

地域社会奉仕 (CS) :献金達成賞、献金最優秀賞 Alexander Scholarship Fund (ASF) 献金達成賞、献金最優秀賞 Family Fast (FF) 献金達成賞、献金最優秀賞

以 上

2021-2022 年度 東日本区 会員増強事業方針

会員増強事業主任 大川貴久（熱海）

事業主題「ワイズの未来を照らす若返り実行計画」

事業方針

ワイズの10年後（2032年）はどうなるのだろうか、と暗澹たる気持ちになるのは私だけだろうか。私だけではなくワイズメンバーの皆様は「心の奥底にこのままではワイズに明るい未来は見えない」と薄々感じていると思う。そこで、過去の繰り返し、焼き直しではなく即実効性のある「若返り実行計画」が必要です。

事業目標

1. Change2022! の継続
2. 各クラブ3名以上の純増
3. 新規入会者の東日本区大会参加費無料（継続）
4. クラブ出席率100%の実行
5. 新クラブを3つ以上作る
6. SNS、HP、QRコードを使った導線の分かる会員募集をする

実行計画

1. Change2022! を継続させ、新規入会者獲得のため、まず自クラブ内の現状の把握そして改善、誰が見てもこのクラブに入りたいと思わせるような魅力あるクラブを企画立案し実行する。
2. 1クラブ3名の純増を計るため、各部の部長、EMC 事業主査、部エクステンション委員長、各クラブ会長、EMC 委員長を柱として実行部隊を作り、作戦計画、遂行、実行状況を会員増強事業主任が把握する、毎月 Zoom 委員会（部長、主査、エクステンション委員長）を開催し現状報告と問題点を発表してもらう。（Change! 2022 委員会の前）
3. 名刺にクラブ別 QR コードを入れ、ワイズメンズクラブ紹介 HP を新規に作成し、クッキー等を使用してどのクラブからの紹介者がここにアクセスしたか分かるように導線を作成する。
4. ワイズメンズクラブを楽しんで、理解してもらうためには自クラブへの出席率100%を目標とし、メイキャップの実行も確実なものにする。他クラブへ出席することによりさらにワイズメンズクラブの理解を深めることができる。
5. 新クラブを設立していかないとワイズメンズクラブの未来はない。ZOOM だけのオンラインクラブ、ZOOM とオフラインのハイブリッドクラブの設立などを念頭に置くのも良い。
6. SNS、HP、QRコードを積極的に新会員募集のツールとして使用する。

表彰基準（対象期間：2021年5月1日～2022年4月30日）

1. EMC の E 部門
 - ①新クラブ設立賞（期間内にチャーターしたクラブのスポンサークラブ）
ZOOM のみのクラブ、ハイブリッドクラブも表彰する。
 2. EMC の M 部門
 - ①最優秀賞（最も多くの新入会員を獲得したクラブ）
 - ②優秀賞（最優秀クラブに次いで新入会員を獲得したクラブ）
 - ③努力賞（3名以上の新入会員を獲得したクラブ）
 3. EMC の C 部門
 - ①出席率最優秀賞（100%または最高のクラブ） ②出席率優秀賞（90%以上）
 - ③ノンドロップ賞（退会者ゼロ）
 - ④グッドスタンディング賞（会員数15名以上達成）
 4. EMC 特別賞
 - ①EMC 事業に積極的に取り組み、成果を収めた部やクラブ、個人
 5. SNS、HP、QRコード活用賞
 - ①SNS、HP、QRコードを積極的に使用し新規会員を獲得したクラブ、個人
- ※ 国際ブースター賞
 - ①3名以上獲得した個人 ②6名以上獲得したクラブ（対象期間：2/1～1/31）

2021-2022 年度 国際・交流事業方針

国際・交流事業主任 山田公平（宇都宮）

1. 事業主題: 「ワイズ運動と YMCA の活動をどう結びつけるか? を問い続けて」各地にあるワイズ運動は、どこまで YMCA と共にあろうとするか。その問いかけに応える形で国際・交流事業を位置付けてみたい。ワイズと YMCA、その地域、この3者がウィン・ウィン（三方よし）の活動になるよう結び付けたい。また、国際的な働きを身近に感じられるような工夫をしたい。そのためにも、東西日本区だけでなく、アジア太平洋地域、そしてワイズメン国際協会にも働きかけていきたい。

2. 国際・交流事業分野

- 協力資金（TOF, RBM, YES など）の活動がもっと身近に感じられるように工夫したい。国際ブラザークラブとしてかかわる仕組みを考えていきたい。
- TOF（タイム・オブ・ファスト）は、世界各地で行う恵まれない人々へのプロジェクトであるが、日本のワイズと IBC 関係にある海外のワイズと YMCA が協働で TOF プロジェクトを提案する可能性を検討し、新しいスタイルの TOF 活動に結び付けたい。
- RBM（ロール・バック・マラリア）はマラリア感染予防策（蚊帳の支給や感染防止教育）をするもので、事業の効果などが具体的に見えるようにする。
- YES（ワイズの新クラブ設立への支援金）であり、ワイズのない地域の YMCA と共に新クラブを生み出す働きかけを国内外で行えるようにしたい。

3. 交流促進として

- IBC（国際ブラザークラブ）は、海外のワイズと日本のワイズが締結し、交流を促進する制度。IBC 締結は、すでに東日本区だけでも 65 の IBC 関係がある。IBC を新たに増やすことより、既存の IBC をいかに活性化させる方法を検討する。
- DBC（国内の兄弟クラブ）は、東日本区内のクラブですすでに 56 の締結があり、これも交流の在り方を考え直す時としたい。そのためにも、IBC や DBC を活用して献金しているプロジェクトに結び付けるよう働きかけていきたい。

4. 横のつながりを

既存のユース事業、CS 活動や YMCA サービス、メネット活動などの事業分野とも組んでワイズの働きが世間へアピールできるようにするための工夫していきたい。

2021-2022 年度 ユース事業方針

ユース事業主任 三田 庸平（もりおか）

主題 : ユースとワイズの繋がりを強固なものに

副題 : ユースの輝ける時代を

【活動方針】

ユース世代の輝ける時代を求めて我々ワイズがどのように関わり・支援していけるかを考えてユースにワイズを知ってもらい、ワイズがユースを知る事が重要だと思っています。その為に、ユース世代が今どんな事に興味があり、どんな事を考えて活動しているのかを理解して、我々から寄り添っていけるものにしていきたいと思います。そうして、ユースとの繋がりを強くしていきたいと思います。また、様々な活動していく中で枠を超えて、様々な事業と協力して盛り上げていきたいと思っています。

【重点活動】

① ユースクラブ設立

ユースクラブの設立を目指します。ワイズとの連携を強める一つとしてかなえたいと思っています。ユースクラブ（30歳以下とし）に所属して、その後ワイズに入会という流れを作れたらいいなとも思っています。ユース世代のコロナ禍で活動自粛がある中で、様々ななかかわりを持ってもらうものとして目指したいと思います。

② オープンフォーラムY開催

今の若い世代が考えている話題を取り上げて1年通してより多くの若者にみんなで考えてもらい交流してもらえたらと思っています。また、ワイズの方々にも積極的に参加してもらいユース世代との交流にして頂けたらと思っています。

③ ユースの派遣&報告会

IYC・AYC・ユースリーダーズフォーラムの派遣を積極的に行ってもらい、ユースの成長の一つでもあり、輝けるものでもあるので積極的に派遣してもらいたいと思います。また、事後の報告会をしてもらい、ユースとの交流にってもらえたらと思います。

④ ユース事業の支援

各部・各クラブのユース事業をして頂き、支援をさせて頂きたいと思います。具体的な支援はまだ、決まってませんが、支援はさせて頂きたいと思います。

2021-2022 年度 東日本区ワイズメネット委員会方針

ワイズメネット委員長
澁谷 実季（所沢）

1. 事業主題

主 題：「ワイズメネットの強みを活かそうー新たな可能性を求めて」

今年度は、昨年度と同様に東日本区におけるワイズメネットの働きをまとめ、その働きの強みを活かし、区としてワイズメネットの働きの可能性を検討していきたい。また、国際のワイズメネットのマニュアルを読み解き、又アジア太平洋地域におけるワイズメネットの働きについて知り、私たちの新たな可能性を求めていく。ワイズメンズクラブに連なるすべての人にワイズメネットの理解を深めていただけるように働きかけていきたい。

2. 事業計画

(1) プロジェクト *ワイズメネット献金により実施

① 国内プロジェクト

- ・ YMCA 施設へ絵本を贈る運動
- ・ 東日本大震災復興支援

② 国際プロジェクトの支援（継続）及び国際登録費を国際本部に送金

- ・ TOF プロジェクトの支援（ウクライナ・ザポリツィアでの「脆弱な子供たちが健康的なライフスタイルを普及促進していく手段としてのスポーツと非公的的教育」プロジェクト）

(2) 「第 24 回 東日本区ワイズメネットのつどい」開催

- ・ 2021 年秋頃を予定

(3) 「第 24 回 東日本区大会 ワイズメネットアワー」開催

- ・ 2021 年 6 月 12 日～13 日、甲府

(4) ワイズメネットの今後の在り方を検討

- ① 各クラブにおけるワイズメネットの活動や実態の情報収集をして、現状を把握する。
- ② “Y’S MENETTES INTERNATIONAL MANUAL”より今後のワイズメネットの存続を考え、持続していける形を模索する。
- ③ アジア太平洋地域や国際のメネット会の取組みを共有していく。

2021-2022 年度 北海道部部長方針

北海道部部長 中村義春（十勝）

部長主題

心を高めよう パート２！
～ワイズダムの繋がりを友情の輪に～

今期、北海道部部長を務めさせていただきます、十勝クラブの中村です。皆様方のご支援を賜りながら、大役に取り組んで参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、新型コロナウイルス感染拡大に伴う大きな影響を受け、思うようにワイズ活動を行えないまま２年目に入りました。ようやくワクチン接種が始まり、今後、感染症対策が順調に進んでいくことを願います。まだまだ不安の残るコロナの影響と、三密状態を避けての制限された活動を余儀なくされる状況を考慮し、主題を昨年に続き「心を高めよう パート２！～ワイズダムの繋がりを友情の輪に～」とさせていただきます。

活動方針

- ① 会員の減少と高齢化について考える
- ② 会員同士のコミュニケーションを図る
- ③ ファミリーの協力促進
- ④ YMCA・地域への積極的参加や協力を行う

ワイズ活動が十分に再開されるまで、会員一人ひとりが心身の健康を守り、今できることを地道に行い、ワイズ仲間との繋がりを保ちつつ、心を高めていただきたいと思います。ワイズコロナ時代の新しい生活様式が示される中、ワイズにおいてもオンラインによる例会や会議、コミュニケーションが行われ、ほぼ全国で活発に採り入れられてきております。特に北海道部では、クラブ内のメンバー同士、また部内４クラブ間の距離が遠く、通常でも一堂に会することが困難な中、オンラインは有用なツールとなると思います。また、このような非常時こそ必要とされる地域への支援や奉仕、工夫もあるのではと思います。部内の皆様から、様々なご意見やご提案、お知恵を頂ければ幸いです。

困難な状況を乗り越え、一日も早く活動が再開されることを願います。北海道部、そしてワイズダムの益々の発展に少しでもお役に立てれば幸いです。

微力ですが、一年間よろしくお支えください。

2021-2022 年度 北東部部長方針

北東部部長 南澤一右(仙台青葉城)

● 主 題 【続】『変化を楽しみながら新生北東部を創ろう！』

● 副 題 With コロナの新体制を確立しよう！

■ 基本方針

1.With コロナの推進

2020-21 年度は、新型コロナがワイズメンズクラブの活動に大きな変化をもたらしました。この変化は大変厳しいものとなりましたが、コロナの猛威は衰えるところを知らない状況が続いています。

2021-20 年度も新型コロナとの戦いが続くと思われ、新型コロナとの共生、With コロナの推進が必須の状況となっています。

今年度は、東日本区の法人化を進めます。法人化のメリットも最大限に活かし、With コロナの推進をしていきたいと思ひます。

新型コロナの影響による変化を楽しみながら新生北東部を創っていかれたらと考えています。

2. コロナ禍でのワイズメンズクラブの活動

新型コロナの影響で、これまでとは異なる新しい形のクラブ運営を行なう必要があります。

すでにリモートでの例会開催、SNS の活用、また、密を避けてのハイブリッドと呼ばれる従来の例会にリモートでの参加を行なっているクラブもありますが、まだまだ操作方法に不慣れなクラブ会員、活用できていないクラブも多いかと思ひます。

今年度は、With コロナで新しい活動様式に対応したクラブ運営の確立をしていくことに力を入れていきたいと考えています。

3. YMCA との関わり(絆を深める)

ワイズの主な役割は YMCA を支援することですが、新型コロナの影響でソーシャルディスタンスではないですが、YMCA との関わりが疎になりつつあります。関わり方もこれまでとは異なりドラスティックな変更を余儀なくされています。

一方、ワイズメンズクラブでは Change ! 2022 にあるように会員増強も急務となっていますが、コロナの影響で Change ! 2022 の目標達成も簡単なものではなくなっています。

ワイズメンズクラブの会員としては、YMCA に理解があり奉仕活動に積極的なメンバーが増えることでワイズの活性化はもとより YMCA 支援もより充実したものとすることが出来ると言えます。

以上のことから、会員増強には YMCA の協力も仰ぎ、YMCA 関係者(元 YMCA ユースリーダー、元 YMCA 職員、YMCA 関連施設の利用者、等)の入会を促進することでメンバー増強が可能になるとともに、YMCA との絆も深めることができ、ワイズメンズクラブをより活性化することができます。ピンチをチャンスに変え、With コロナの新体制を確立したいと思ひます。

2021-2022 年度 関東東部部長方針

関東東部部長 大澤和子（所沢）

部長主題・スローガン

「私の地域から世界に広げよう青少年を支えるワイズの輪・和・ワッ！」

活動方針

青少年は未来の宝です。少子高齢化で、1人の働き手（若い人）が4人の高齢者を支える時代になりました。けれども、我々ワイズメンズクラブのメンバーは支えられるのではなく、支える側に立ちたいです。4人のワイズメンが一人の青少年を支えると考えたらどうでしょう。年を重ねてもいつまでも元気でいきいきと生活するためには、セルフエスティーム（自己有用感）を高めることだと思います。

（若いパパママ、社会人、）大学生、高校生、中学生、小学生、幼稚園児や保育園児、障害のある人…。私たちワイズメンは、そういう人たちを支えたい。年を重ね経験豊かなワイズメンは、若いワイズメンから活力を得て、老いも若きもワイズメンは、一致団結して世界中の上記の若い方々を支えたいです。

クラブを超えて、部を超えて、区を超えて、国を超えてワイズの輪を広げたい。自分を愛し、隣人を愛し、地域を愛し、世界を愛するワイズメンでありたい。そうするとワッと驚く意義のある楽しいことができるのではないのでしょうか？

幸い、コロナのおかげで、私たちは、離れている人とも気軽に心をつなぐ方法を知りました。地域を大切にしながら世界中にワイズメンの愛を届けたい!!

活動計画

- ★ 三回の評議会やFB その他の様々な機会に、意義のある楽しい企画・取り組みを報告しあい、共有することで、ワイズメンと、クラブのセルフエスティームを高める。
- ★ 青少年をクラブに招くとともに、青少年の集まりに出かけて交流を図ることにより、若者からエネルギーを分けてもらい、クラブの活性化を図る。

キーワード グローカルクラブ

地域の取り組みを大切に

世界に視野を向けて

4人のワイズが1人の青少年を支える

青少年と一緒に

青少年の集まりに出かける

ユースフォーラム

2021-2022 年度 東新部 部長主題・活動方針

東新部部長 松香光夫 (東京町田コスモス)

1. 部長主題： 何が問題か、どうしたら良いか、道は一つではない。
2. 活動方針：

現代において私たちの抱えている問題の多くは、私たち自身の高齢化と、関係者数の減少傾向によるものと言えます。だから仕方がないと諦めてしまうのではなく、その中でどうしたら良いかと考えてみましょう。多様な状況にあって、一人一人ができることは、それぞれに違いますが、私たちがつながることによって、あるいは力を合わせることによって、新しい力が出てくるのだと思います。

ワイズ発祥から 100 年を記念して、Change! 2022 運動があり、またそれぞれのクラブの創立時を思えば、例えば東京クラブでは 90 年、我がコスモスクラブでは 25 周年になりますから、それらを記念して、思い切った（アニバーサリー）声かけ運動は有効だと考えられます。

コロナ禍中において、新しい対応としてオンラインの例会が行われ、これまで身近に感じることのなかった遠隔地のワイズメンとも顔をあわせ、手を取らんばかりに感じたのは私ばかりではないでしょう。先日東新部で EMC セミナーがあった際に、発題者が合同例会を積極的に推進することで、クラブ同士の統合、あるいは少なくとも個人の他クラブへの準会員化も力になるという話題も出され、一つの道だなあと聞いたことでした。（その際に会費の優遇措置も検討すると良いかもしれません。）

おなじセミナーで、新クラブがチャーターできれば、ほぼ必然的に平均年齢が下がることになることも指摘されました。またクラブ単位の前に、70 代以上の会員が、世代の異なる（下の）候補者に呼びかけることが有効だという提案も、心しておきたいことです。

問題を分析し、何ができるかを考えて行きましょう。

その際に、ユネスコが SDGs を掲げているように、外部団体との協働もヒントになると考えています。

2021-2022 年度 あずさ部部長方針

あずさ部部長 長谷川あや子（東京八王子）

部長主題 「道を拓く～愛と協力によって」

部長方針

次の世代の成長のために私たちは何ができるか～心に浮かぶのは、前の世代が私たちのために真摯に道を拓き、種を蒔いてくれたことです。

あずさ部は新宿～松本間を結ぶ特急あずさ号にちなんで命名されました。東京・山梨・長野にわたる広域の部として出発したため、部としての一体感を持つために部もクラブも知恵を絞り工夫をこらして活動してまいりました。現在はコロナウィルスの影響で思うに任せぬ状況ですが、思いやりの心を忘れず、手を携えて新しいことにも挑戦し、共に励み道を切り拓いて行きましょう。

重点目標

- ・新しい生活様式に沿えるよう努力する。
例会、CS 活動など対面でできなくても、工夫し、助け合ってクラブ運営しましょう。
- ・各クラブ間の情報交換を積極的に行う。
遠隔の地でも Zoom なら参加できます。“距離を越えて会うチャンス”ととらえて他クラブ訪問しましょう。
- ・YMCA とワイズは友達。
お互いに尊敬しあえる友人として力を尽くしましょう。
- ・地域に必要なワイズとなるために出来ることから始める。
地域のニーズを掘り起こし、まず一步を踏み出しましょう。

行事予定

- | | | |
|------|-------|---------------------|
| ・部大会 | | 2021 年 10 月 16 日（土） |
| ・評議会 | 第 1 回 | 2021 年 7 月 17 日（土） |
| | 第 2 回 | 2022 年 2 月 12 日（土） |
| | 第 3 回 | 2022 年 5 月 14 日（土） |

2021-2022 年度 湘南・沖縄部 部長方針

湘南・沖縄部部長 若木一美（横浜とつか）

- 1 部長主題 咲かそう 人の輪
～ 明るく・楽しく・元気よく ～
- 2 活動方針 昨年2月横浜港・大黒ふ頭から衝撃的な報道がなされ、社会は突然変わりました、COVID—19 の出現です。あれから一年私達は「咲かすな 人の輪」を強いられ、そこで急速に普及したのが「オンライン〇〇」「リモート〇〇」等と呼ばれる非接触型の媒体でした。
今期は昨年急停車した事業の中から実行可能な事業を企画・実践し、私達の活動の原点「咲かそう 人の輪」を目指すとともに、電子情報媒体を用いた新規事業の開発へ向け準備を進めます。
- 3 重点目標
 - ・プログラムに参加する多くの市民と直接接するYMC A職員さんとの良好な関係を構築して、今地域で求められていることを確認すること
 - ・目的を達成した事業の終了、既存事業は現状に即すよう変革を進めること
 - ・ドキドキ、わくわく、イキイキする活動を目指すこと
- 4 行事予定

評議会	7月31日・11月27日・6月25日
部大会	10月23日
Yとワイズの新年会	1月15日
沖縄訪問	1～2月頃
研修会	5月28日（仮題：法人化で目指すこと）
- お 願 い 25年前の組織再編で誕生した「湘南・沖縄部」はさまざまな経緯から神奈川県内4クラブと沖縄県内2クラブで発足しました。
昨秋、沖縄クラブから新たな提案がありました。このことも含め、湘南・沖縄部が抱える課題解決へ向け、関係される多くのみなさまのご指導、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2021-2022 年度 富士山部部長 方針

富士山部長 小原進一(熱海)

主題 ワイズリニューアル

副題 今、出来ることはしたたかに

本年はワイズ100年の節目に当たります。

また、Change!2022 が3年目に入ります。

“起承転結”では“転”の年で、次年度に結果を出さなければいけません。

しかしながら、昨年・本年の社会情勢を考えますと、事業や会合の自粛という今までのワイズ活動を全面的に否定された感じがします。

どのクラブでも会員減に苦勞していることではないでしょうか。とかく我慢を強いられる状況は継続しそうです。

今こそ、エクステンションと会員獲得に注力するタイミングです。

また、事業等におかれては立ち止まっているときに見直しもいいではありませんか。

出口のないトンネルはありません。明るい未来を信じて、今出来ることをしておきましょう。

2021-2022 年度 各事業主査予定表

年月	行事	詳細
2021年3月	6日 次期会長・部役員研修会	部長・区事業主任と懇談し、部と区の方針・目標を理解する
4月	次期部役員研修会・準備会	
5月	次期事業・運営引継ぎ	
6月		部報1号の原稿執筆
7月	キックオフ・Change!2022 PR	部評議会で事業主査方針を発表する
8月	LT・IBC	所属部の部会に出席
9月	EMC	
10月	BF・TW22	
11月	ASF	
12月	キリスト教理解・記録	
2022年1月	EF・Week 4 You	
2月	TOF・STEP・YEPP	各種献金の目標達成の呼びかけ（地域奉仕、国際・交流）末日までに区事業主任へ各クラブの献金額の報告
3月	CS・ワイズメネット	
4月	UN Project・RBM	
5月	ブランディング・YIA Week 4 Waste	
6月	YMCA リエゾン・評価 次年度計画	部報最終号の原稿執筆

○部大会、評議会、部内クラブの周年行事、部長公式訪問を今年一年のスケジュールに入れる

○区事業主任に部の事業を話す。

○評議会において事業活動報告をまとめ、発表する。

○委員会には主査委員として協力、表彰を把握する。

○地域奉仕・YMCA サービス

CS・ASF・FF 献金の呼びかけ。

各クラブからの献金額を、2月末までに区事業主任へ報告。

年賀切手個人100枚以上収集者の名前を2月末までに区事業主任へ報告。

○会員増強 新入会員入会式の立ち合いを積極的に行う。

クラブから「会員異動報告書」を受け取り、すみやかに区事業主任と部長に報告。

○国際・交流 BF・TOF・RBM・YES・EF 献金の呼びかけ。

各クラブからの献金額を、2月末までに区事業須人へ報告。

○部長公式訪問の随行。

○部報2号、3号等の原稿執筆

○第2回、第3回等の評議会出席

クラブ運営に関する事務手続きのポイント

2021-2022 年度 東日本区書記 衣笠輝夫（埼玉）

2021-2022 年度の理事の主題「私たちは次の世代のために何ができるか?」、スローガン「絆を深める時」の実現にむけ各クラブで実行頂くための一助として、「クラブ運営に関する事務手続きのポイント」を纏めました。熟読して頂き、期限厳守で、間違いのないよう事務処理して頂きますようお願いいたします。

1. 情報の受発信

クラブ会長はクラブの責任者であると同時に対外的な窓口でもあります。東日本区から各クラブへの連絡、情報提供、依頼事項はすべてクラブ会長宛に送られます。以下のことにご留意ください。

- クラブメンバーへの情報提供：クラブ会長への情報送信は、東日本区メーリングリストおよび郵便等で行われます。区報、理事通信、各種通信、各種連絡・案内、ニュース等がクラブ内に行き渡るよう、メールの転送、コピーの配付等をタイミングよく行ってください。
- 締切期日の厳守：全てのクラブの回答が揃わないと先に進めない事項も多数あります。締切期日は厳守するようお願いいたします。
- 情報の発信：クラブのCS・Yサ事業や特別集会等についての区、部への情報発信はクラブ会長の責任において是非積極的に行ってください。

2. 半年報提出の手続き

クラブから提出される年2回の半年報は、東日本区の現状を把握する基礎資料となり、クラブから支払われる東日本区会費（国際会費、アジア太平洋地域会費を含む）などを算出する基準となります。

半年報用紙は事前に会長あてに郵送又はメール添付で届きます。また、東日本区のウェブサイトの「会員増強」ページからもダウンロードできます。

（東日本区ウェブサイト：<http://ys-east.jimdo.com/>）

半年報は、会長の責任において会長または書記が記入し、期限厳守のうえ、各所属部の部長宛に提出してください。

前期半年報： 2021年7月1日の会員数と異動報告： 提出期限7月10日 部長宛
後期半年報： 2022年1月1日の会員数と異動報告： 提出期限1月10日 部長宛

各部長はこれを集計して、前期は7月15日まで、後期は1月15日までに東日本区会員増強事業主任および東日本区事務所にご報告下さい。

3. 会員異動報告書

クラブ会員に異動（入退会）があった場合は、「会員異動報告書」に、会長の責任において会長または書記が記入し、部長および部会員増強事業主査に送って下さい。事業主査は、東日本区会員増強事業主任及び東日本区事務所に送ってください。用紙は、東日本区のウェブサイトの「会員増強」ページからダウンロードできます。

併せて、郵便局の「払込取扱票」を使って、入会金(6,000円)を東日本区事務所へご送金ください。新入会の場合、入会キットを発送させていただきますので、入会式の15日前までにご報告ください。

4. 代議員会

代議員会は東日本区の最高意思決定機関です。クラブ会長と部代表からなる「代議員」で構成され、毎年、東日本区大会の前（初日午前中）に年次代議員会が開催されます。代議員は出席の義務並びに議案の提出及び議決の権利があります。代理出席は認められていませんので、必ずご出席ください。

又、今年の7月下旬から8月上旬ころに郵送又は他の方法による臨時代議員会が行われる予定です。前年度の会計決算に関する議案になります。必ず投票を行ってください。

5. 国際投票

国際役員（国際会長、国際議員など）の選出（毎年）及びその他国際レベルの案件（随時）の採決のための投票が行われます。これらの投票については、行われる際、ワイズメンズクラブ国際協会本部（ジュネーブ）より直接ご連絡致します。投票権を持つのはクラブ会長のみです。大切な権利ですので、棄権することなく行使してください。投票は、登録された会長のメールアドレスより、ワイズメンズクラブ国際協会本部（ジュネーブ）のウェブサイトで行います。事前に代理登録は可能です。

投票権があるのは、全てのグッドスタンディングクラブ（会員数3名以上、直近3半期の区会費（国際会費、地域会費を含む）が納入されていること）ですが、国際役員選出の投票は、直近3半期の会員数が15名以上のクラブのみです。（注：15名未満のクラブで、設立25年以上のクラブは特例措置で、申請すれば投票権が得られます。）

6. クラブブリテン

クラブブリテンはクラブ内の「機関紙」であり「公的記録」です。また、クラブ内外への「広報誌」、入会希望者への「入会案内ツール」でもあります。さらに東日本区の各種表彰の多くはブリテン掲載の活動状況をもとにしています。ブリテンは、毎月必ず

発行し、例会1週間前までに送付先に届くようにしてください。

必須掲載事項と送付先は Handbook & Membership Roster（ロースター）の「クラブ運営に関する事務手続きのポイント」を参照してください。

7. クラブ例会、事業・行事予定の東日本区ウェブサイトでの公開

今年度も、東日本区ウェブサイトで例会（会場、開始時刻、卓話者、特記事項等）およびCS、Yサ等のクラブ事業、各種行事等のスケジュールを公開する仕組み（東日本区カレンダー）が運用されています。各種行事等のスケジュールは、各クラブおよび各部ご自身で随時ご入力ください。区の行事も各種掲載いたします。是非積極的にご活用ください。

カレンダーの入力方法が不明な場合は、ITアドバイザーにお問い合わせください。

8. その他

別冊「クラブ運営マニュアル」と Handbook & Membership Roster に詳しい説明がありますのでご参照下さい。ご不明の点は、東日本区事務所または東日本区書記にお問い合わせください。

21-22期東日本区書記 衣笠輝夫(埼玉クラブ)

Eメール：tkinubus@gmail.com

電話：090-6038-1843

東日本区事務所：

〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町 2-11

電話・FAX：03-5367-6652

E-メール：yseast2010@gmail.com

会計についてのお願い

次期東日本区会計 鈴木伊知郎（宇都宮東）

送金方法は、昨年の通りといたします。今期の会計との引継ぎをお願いいたします。

区費等の送金は、東日本区からの請求書を各クラブ会長あてにメールにて送付いたしますので、それに従い、青色の「ゆうちょ銀行振込取扱票」を使用して最寄りのゆうちょ銀行からご送金下さい。

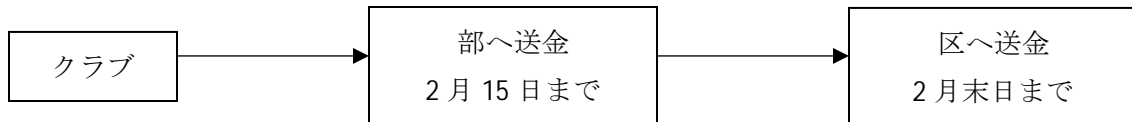
ゆうちょ銀行 口座記号番号:00110-0-362981
加入者名:「ワイズメンズクラブ国際協会東日本区」

他の金融機関から送金する場合は、**ゆうちょ銀行 019 支店(当座)0362981** へご送金下さい。

○クラブから区へ送るもの



○クラブから部で取りまとめて区へ送るもの



内訳

ASF	500 円×会員数	以上
TOF	1,300 円×会員数	以上
BF	2,000 円×会員数	以上
YES	500 円×会員数	以上
CS	1,250 円×会員数	以上
FF	500 円×会員数	以上
RBM	800 円×会員数	以上
PWALP	800 円×会員数	以上 (2022 年度まで)
YVLF 負担金	20,000 円	(部の規定による)

(注) 会員数：期首会員数から広義会員と功労会員を除き、担当主事を含む人数

以 上

必要な書類などは東日本ウェブサイトにあります。

ダウンロードしてご利用ください。

東日本区ウェブサイト <https://www.ys-east.or.jp/>

- ① 前期半年報(7月10日提出) 会員増強ページ
- ② 後期半年報(1月10日提出) 会員増強ページ
- ③ 会員異動報告書 会員増強ページ
- ④ 担当主事異動報告書 会員増強ページ
- ⑤ 広義会員申請書 会員増強ページ
- ⑥ 功労会員届出書 会員増強ページ
- ⑦ 休会申請書 会員増強ページ
- ⑧ E F 申込書 書式ページ
- ⑨ J E F 申込書 書式ページ
- ⑩ ワイズ物品注文シート ワイズ物品ページ
- ⑪ 使用済み切手の集め方 国際・交流ページ
- ⑫ 入会式式文 書式ページ
- ⑬ 役員就任式式文 書式ページ
- ⑭ メーキャップカード 会員増強ページ
- ⑮ 入会案内パンフレット 書式ページ
- ⑯ レターヘッド 書式ページ
- ⑰ 東日本大震災支援活動補助申請書 書式ページ

東日本区 IT 活用について

IT アドバイザー
大久保知宏 (宇都宮)

東日本区ウェブサイト

<http://www.ys-east.or.jp/>



ワイズメンスクラブ国際協会
東日本区公式ホームページ
The International Association of Y's Men
Japan East Region Official Web Site

ワイズメンスクラブ国際協会

Facebook に接続する

日本YMCA大会開催迫る

第21回日本YMCA大会についてご案内いたします。
第21回となる今大会はオンラインを用いて実施をいたします。コロナ禍にあり、私たち自身が #はなれていてもつながっている ことを体現しつつ、一人ひとりにある「つながる力」を発揮して、ポジティブネットのある豊かな社会の創造のために、心を合わせ、思いを分かち合う機会としたいと思います。

下記をご確認いただき、YMCAにつながる1人でも多くの方々にご参画いただけますよう、ご協力のほどお願い申し上げます。

【第21回日本YMCA大会】

テーマ：「いまこそ、ポジティブネット みつける、つなげる、よくなっていこう！」

大会公式サイト：<https://www.ymcajapan.org/assembly21/>

大会公式Twitterアカウント：@ymcahanatsuna

同盟公式Instagramアカウント：ymca_japan

日 程：2021年2月23日 (火・祝)

第1部 午後2時～3時30分 (90分) YouTubeによるライブ配信形式

第2部 午後5時～6時30分 (90分) Web会議システム「Zoom」による双方向形式

対 象：全国のYMCAに関わるすべての方

参加費：無料

申し込みについて：

(1) 個人でお申し込みの場合：Googleフォームからお申し込みください。

<https://forms.gle/VnSfdQNkFBrnM5CK8>

(2) 各YMCAにて取りまとめる場合：添付のエクセルシートに必要な事項をご記入の上、ご返信ください。

返信先：日本YMCA同盟 杉野歌子 sugino.utako@japanymca.org

・締め切り：2021年2月17日 (水)

・申し込まれた方には第1部のYouTube 配信URLと、第2部のZoom 会議室URLをお知らせいたします。

第21回日本YMCA大会_第2報.pdf

トップページ

お伝えした最新記事が掲載されています
クラブから周年行事などお知らせしたいことがあれば、ITアドバイザーまでご依頼ください。

理事通信

月初めに更新されます

国際会長、部報などが
グループ単位でページに
なっています。

各事業からのお知らせ
各事業主任、委員会からの
お知らせを掲載します。

- ワイズメンスクラブ国際協会
- お問い合わせ
- アクセス
- 奉仕活動
- REGION_Bulletin
- RD_Report
- IP_News
- DG_Report
- 献金
- 会員数
- Change!2022
- QR
- facebook
- 会議室
- 国際投票
- 東日本区震災被災者支援
- 部・クラブ情報
- 部大会
- 地域奉仕・Yサービス
- 会員増強
- 国際・交流
- ユース
- YVLF
- メネット

ブリテンの配信方法

ブリテンが完成したら IT アドバイザーまで添付ファイルでお送りください。容量制限はありません。IT アドバイザーでファイルを最適化して掲載します。掲載が終わったらメールでお知らせしますので、ワイズコム等のメーリングリストで告知してください。告知は、ブリテンが掲載されているアドレスをメールでお知らせすることになります。ワイズコムへのメールにはブリテン自体は添付しないようにしてください。

ファイルの最適化は、ファイルの種類（PDF）とその容量だけになります。ブリテンの内容については、各クラブで確認してください。

ニュースの配信方法

部会、クラブの周年行事、奉仕活動、チャリティーイベントなど、告知したいニュースがある場合、告知用のちらしファイルなどをお送りいただければ、ファイルを最適化してニュース掲載いたします。実施前の募集や実施後の速報などにご活用できます。奉仕活動の様子などは、ブリテンにまとめる前に速報として、写真と簡単な説明で掲載されると活発な様子を対外的に出せるのでお勧めいたします。後述する Facebook との連動などで、動画などでの告知も可能です。

メーリングリスト

東日本区では区内の円滑、迅速、コストのかからないコミュニケーションを可能とすべく、メーリングリストを提供し、活用しています。メーリングリストを利用することにより、効率良くかつ確実に区内全体（クラブ会長、区・部役員）や特定のグループ内でのメールの送受信を行うことができます。

（メーリングリストに入っていない（メールアドレスをお持ちでない）クラブ会長、事業主査等がいらっしゃることに留意下さい。）

- 当該メーリングリストに属するメンバーのみが発信可能です。

メーリングリスト種類	メールアドレス
部長全員+区役員会メンバー	dg-higashinihon@ys-east.or.jp
あずさ部役員	dist-azusa@ys-east.or.jp
富士山部役員	dist-fujisan@ys-east.or.jp
北海道部役員	dist-hokka@ys-east.or.jp
北東部役員	dist-hoku@ys-east.or.jp
関東東部役員	dist-kanto@ys-east.or.jp
湘南・沖縄部役員	dist-shounan@ys-east.or.jp
東新部役員	dist-toushin@ys-east.or.jp
文献・組織検討委員会	doc@ys-east.or.jp
Change!2022委員会+拡大EMC	emc@ys-east.or.jp
エクステンション委員会	ext@ys-east.or.jp
法人化準備委員会	hojinka@ys-east.or.jp
事業主任	jigyosyunin@ys-east.or.jp
常任役員会	jyounin@ys-east.or.jp
クラブ会長全員+区役員会メンバー	kaicho@ys-east.or.jp
会議室管理者	kaigi@ys-east.or.jp
IT委員会	it@ys-east.or.jp
区役員会メンバー(委員長・専任委員を含む)	member-yakuinkai@ys-east.or.jp
区役員	officer-je@ys-east.or.jp
東日本大震災支援対策本部	shinsai@ys-east.or.jp
地域奉仕・YMCAサービス事業委員会	syusa-cs@ys-east.or.jp
会員増強事業委員会	syusa-emc@ys-east.or.jp
国際・交流事業委員会	syusa-internat@ys-east.or.jp
メネット委員会	syusa-menette@ys-east.or.jp
ユース事業委員会	syusa-youth@ys-east.or.jp
東西交流会準備委員会	tozai@ys-east.or.jp
ワイズドットコム(東西共通)	yscom@mld.nifty.com

- メーリングリスト経由で受信したメールに「返信」すると発信者のみに返信されます。メーリングリスト内全員に返信する際は「全員に返信」を選択。この場合発信者には二重に返信されるので発信者を宛先から削除して下さい。

- 「ワイズドットコム」は希望者の登録制です。（現在約 700 名）自由、活発な情報提供、意見交換の場としてご利用下さい。（クラブ会長、区・部役員でメールアドレスをお持ちの方は全員登録されています。）

- メーリングリストで送信するメールはできるだけコンパクトにお願いいたします。ワイズドットコムでは 1,000K（1 メガ）以上のメールは送信できないようになっています。

- コンピュータ・ウィルス対策：感染者(=被害者)は即加害者になります。是非対策をお願いいたします。

Zoom 会議室の利用方法

COVID-19 の発生から新しい生活様式の一つとして定着し始めた Web 会議室について、東日本区では Zoom のアカウントを取得し、クラブ例会、部評議会、区役員会など様々な場面で使用されてきています。会議室のアカウントは1個なので、(追加予定です。)原則1日に1回の予約としています。東日本区のウェブサイトから会議室が空いているかを確認したうえで、予約してください。会議室の空き情報、予約のページは次のとおりです。

[会議室 - ワイズメンズ国際協会 東日本区 \(ys-east.or.jp\)](http://ys-east.or.jp)

会議室の予約方法

会議を予約したい場合、上記のカレンダーの予約の入っていない日付を選択し、下記のフォームで申し込んでください。

名前 *

クラブ名 *

メールアドレス *

会議目的 *

日付 * 

開始時間 *

会議時間 *

会議運営者名 *

通訳機能が必要


コードを入力してください。!

プライバシーポリシー が適用されます

 **メモ:** * は入力必須項目です

上記のアドレスの左記の画面に必要な項目を入力して送信ボタンを押してください。折り返し、会議室管理グループから会議室の予約の受付と使用するためのアドレスが記入されたメールが送信者に送られます。そのメールを確認されたら、確認した旨をご返信ください。

会議室管理グループから再度ご連絡があった時点で、会議室の予約が確定します。

会議室の主催者(ホストと呼ばれます)はメールに記載されたホストキーを会議室に入室した後に入力することで、会議の記録や画面の共有ができるようになります。

Zoom の使い方

Zoom 会議室はパソコン、スマホ、タブレット、電話から利用することができます。マイク、スピーカー、カメラなどの設定を考えるとスマホが便利ではありますが、カメラ無しのパソコンでも。マイクとスピーカーがあれば、自身の映像は出ず音声だけの参加になりますが、他の参加者の映像や音声は出ますので、会議の参加には支障はありません。積極的に参加することをお考え下さい。Zoom の操作方法については、別冊「Zoom 操作方法」をご覧ください。

以上

ワイズ物品【注文シート】 2021

品 名	価格(税別)	数 量	金 額
会員バッジ	700		
クラブ会長バッジ <銀製>	4,200		
クラブ副会長バッジ	1,800		
クラブ書記バッジ	1,800		
クラブ会計バッジ	1,800		
クラブ直前(元)会長バッジ <銀製>	4,200		
メネット会長バッジ	2,000		
メネット元会長バッジ <PAST>	2,000		
メネットバッジ	700		
ランチョンバッジ	900		
メネットランチョンバッジ	500		
名刺 (用紙100枚)	700		
名刺印刷(用紙100枚込み)	2,600		
スプーン	600		
フォーク	600		
ワイズキャップ	2,000		
マグカップ (75φ×9mm)	800		
クリアファイル (1組4枚入り)	600		
ワイズシール各種(最小200片)	300		
ネクタイ	3,000		
盾(ギャベルシールド) 30mm×21mm	16,000		
盾 角【大】 21mm×16mm	7,500		
盾 角【小】 15mm×11mm	6,500		
盾 丸 22mm×17mm	8,500		
ギャベル・盾・プレート彫刻(一文字)	20		
表彰用紙	100		
万国旗フラッグセット(海外輸入のため変動あり)	60,000		
ランチョンベル	70,000		
クラブ名：			
氏名：		TEL：	
住所：〒			

物品係～(株) 齊藤工芸 村杉克己(東京北クラブ)

F A X 03-3841-5873 T E L 03-3841-5846

e-mail:saikou@jcom.home.ne.jp

ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区

2020-2021年度後期 現勢

2021.1.1

部 名 クラブ名	2019	2019	2020	2020	2021.1.1			直近 増減
	1.1	7.1	1.1	7.1	入会	退会	差引	
北海道部								
札幌	8	8	8	8	0	0	8	0
北見	13	12	11	11	0	0	11	0
十勝	18	17	17	18	0	0	18	0
札幌北	9	9	9	9	0	0	9	0
クラブ数:4	48	46	45	46	0	0	46	0

北東部								
仙台	16	15	15	13	0	0	13	0
前橋	7	7	7	7	0	0	7	0
宇都宮	32	33	34	31	2	2	31	0
仙台青葉城	14	15	15	14	1	1	14	0
*足利	1	1	1	1	2	0	3	2
*会津	5	5	5	5	0	0	5	0
宇都宮東	8	8	8	8	0	1	7	△1
那須	6	6	6	6	0	0	6	0
もりおか	14	13	14	14	1	2	13	△1
仙台広瀬川	17	16	16	15	0	0	15	0
石巻広域	23	19	18	18	5	1	22	4
クラブ数:11	143	138	139	132	11	7	136	4

関東東部								
東京江東	21	21	21	22	0	0	22	0
千葉	14	15	15	14	0	3	11	△3
東京グリーン	17	17	17	16	0	0	16	0
埼玉	7	7	7	8	0	0	8	0
東京北	12	12	14	12	0	0	12	0
所沢	10	9	9	11	0	0	11	0
東京ひがし	11	11	15	15	0	0	15	0
川越	11	10	11	10	0	0	10	0
茨城	12	10	9	9	0	0	9	0
東京ベイサイド	14	14	16	15	0	0	15	0
千葉ウエスト					8	0	8	8
クラブ数:11	129	126	134	132	8	3	137	5

東新部								
東京	26	26	26	27	0	0	27	0
東京むかで	13	13	12	11	1	0	12	1
東京世田谷	14	11	11	12	1	0	13	1
東京町田コスモス	9	9	8	8	0	0	8	0
東京センテニアル	8	8	8	8	0	0	8	0
東京多摩みなみ	13	14	14	12	0	0	12	0
東京町田スマイリング	0	11	12	10	0	1	9	△1
クラブ数:7	83	92	91	88	2	1	89	1

部 名 クラブ名	2019	2019	2020	2020	2021.1.1			直近 増減
	1.1	7.1	1.1	7.1	入会	退会	差引	
あずさ部								
甲府	34	35	35	33	1	1	33	0
東京山手 (2020年6月解散)	13	11	11	-	-	-	-	-
東京西	15	15	13	12	0	0	12	0
東京武蔵野多摩	12	11	12	11	0	0	11	0
*松本	11	11	11	10	0	0	10	0
東京サンライズ	15	15	16	19	0	0	19	0
甲府21	30	32	37	38	5	0	43	5
東京八王子	16	15	16	13	0	0	13	0
東京たんぽぽ	7	7	9	9	0	0	9	0
*富士五湖	11	11	11	11	0	0	11	0
*長野	11	8	9	10	0	0	10	0
クラブ数:10	175	171	180	166	6	1	171	5

湘南・沖縄部								
横浜	13	12	12	12	0	1	11	△1
*沖縄那覇	9	1	1	1	2	0	3	2
鎌倉	8	8	9	8	1	0	9	1
横浜とつか	12	13	13	12	0	0	12	0
厚木	17	16	16	15	0	2	13	△2
金沢八景	15	13	13	12	0	1	11	△1
横浜つづき	18	17	18	17	0	0	17	0
*沖縄	13	14	15	15	0	3	12	△3
横浜つるみ	0	9	9	9	0	0	9	0
クラブ数:9	105	103	106	101	3	7	97	△4

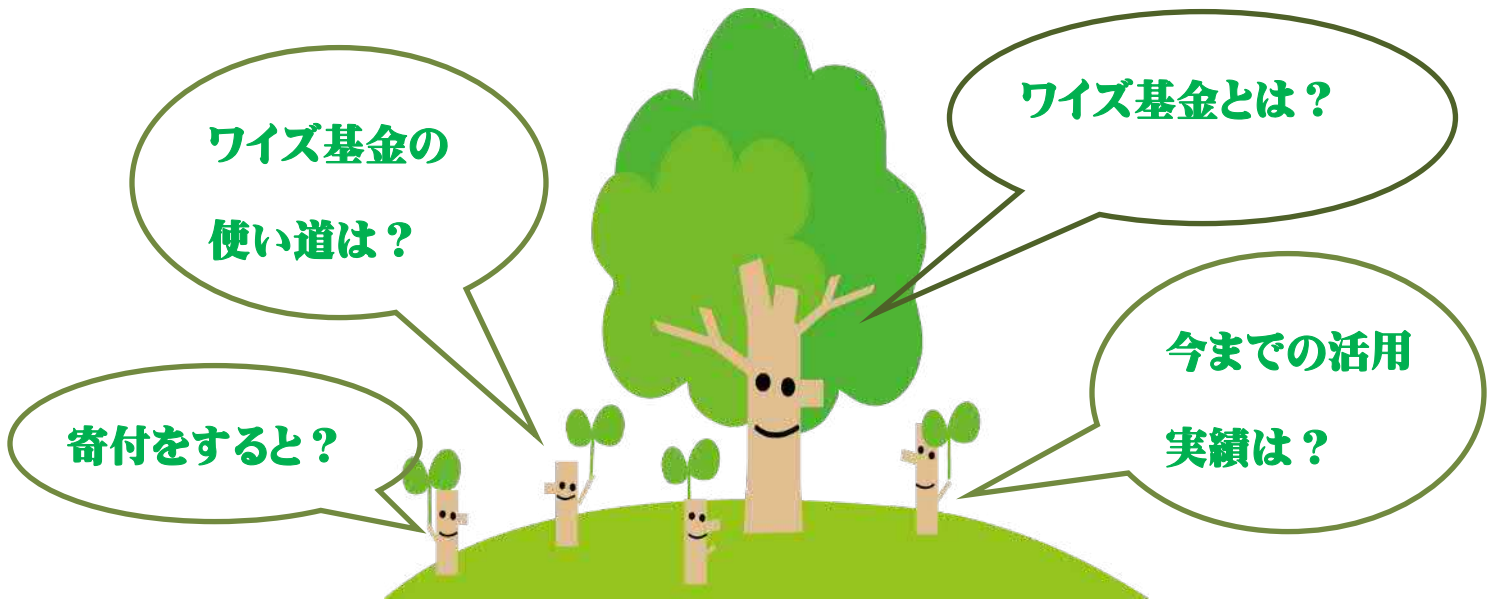
富士山部								
*熱海	45	43	47	45	1	1	45	0
*沼津	18	13	15	15	0	0	15	0
*伊東	24	24	24	18	0	0	18	0
*三島	13	12	12	11	0	1	10	△1
*下田	7	7	7	7	0	0	7	0
*熱海グローリー	17	17	15	13	0	0	13	0
御殿場	24	21	24	21	2	2	21	0
富士	16	16	16	15	0	1	14	△1
富士宮	19	20	20	20	0	1	19	△1
クラブ数:9	183	173	180	165	3	6	162	△3

東日本区合計	2019	2019	2020	2020	2021.1.1			直近 増減
	1.1	7.1	1.1	7.1	入会	退会	差引	
総クラブ数	59	61	61	60	クラブ数:61			0
総会員数	866	849	875	830	33	25	838	8

*印のクラブは、担当主事がないか、または在籍していても



感謝の気持ちをJEFへ (東日本区ワイズ基金)



1. ワイズ基金とは？

東日本区ワイズ運動の継続的な組織と事業の発展のために、個人・クラブが記念すべき出来事、行事、慶弔時のときに、感謝の気持ちを表す拠金で成り立っている基金です。また、記念行事等に関わらず随時ワイズダム発展のための献金も受け付けています。

2. ワイズ基金の使い道は？

区の組織強化の支援、国際交流活動の支援、YMCAの支援、その他基金の目的達成のための支援に活用します。

3. 今までの活用実績は？

ワイズ記念誌発行支援、国際大会・国際交流活動の支援として通訳機器の購入、PWアレキサンダー遺産計画への献金、YMCA東山荘100年募金への協力などを行ってきました。

4. 寄付をすると？

寄付者名とその理由を「奉仕帳」に記帳し永久に保存するとともに、区報にも掲載します。

クラブチャーター、周年記念、IBC・DBC締結記念、役職就退任感謝、誕生日・結婚・お子さまの成長等の記念、病気快気、宝くじ当選、遺贈等どんな時にも、あなたの感謝の気持ちを表す機会として献金をお願いいたします。

東日本区ワイズ基金運営委員会

連絡先: 東日本区事務所 〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町 2-11 日本YMCA同盟
Tel: 03-5367-6652 (Fax 兼用) Email: yseast2010@gmail.com 「献金申込書」送付先

振込先: ゆうちょ銀行 口座記号番号 001100-362981